

町田市子ども・子育て支援事業計画 (素案)

2014年(平成26年)10月

町 田 市

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 第1章 計画の策定にあたって | 1 |
| 1. 計画策定の背景と趣旨 | 1 |
| 2. 計画の位置づけ | 2 |
| 3. 計画の策定方法 | 3 |
| 4. 計画の期間 | 4 |
| 第2章 子どもと家庭を取り巻く状況 | 5 |
| 1. 子どもと家庭を取り巻く状況 | 5 |
| 2. 教育・保育の提供状況 | 19 |
| 第3章 計画の基本的な考え方 | 24 |
| 1. 基本理念 | 24 |
| 2. 基本方針 | 25 |
| 3. 事業体系 | 26 |
| 4. 教育・保育提供区域の設定 | 27 |
| 5. 人口推計 | 29 |
| 第4章 教育・保育の量の見込みと確保策、実施時期 | 31 |
| 1. 幼稚園、認定子ども園 | 31 |
| 2. 保育所、認定子ども園、地域型保育 | 37 |
| 3. 地域子ども・子育て支援事業 | 43 |
| 4. 幼児期の学校教育・保育の一体的な提供及び推進 | 56 |
| 5. その他の取り組み | 56 |
| 第5章 計画の推進に向けて | 57 |
| 1. 計画の進行状況の点検・評価及び推進 | 57 |
| 2. 子ども・子育て支援条例による推進 | 57 |
| 3. 近隣自治体との連携、都・国への働きかけ | 57 |
| 資料編 | 57 |

第1章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の背景と趣旨

(国におけるこれまでの少子化対策、教育・保育確保策)

国は、1990年の1.57ショック（合計特殊出生率）を受け、少子化対策として1994年に「エンゼルプラン」、そして2003年に「少子化社会対策基本法」とともに「次世代育成支援対策推進法」を制定し、総合的に少子化対策に取り組んできました。また、2007年の「子どもと家族を応援する日本重点戦略」では、若い世代の結婚・出産・育児に対する希望と現実の乖離を解消するための重点戦略が打ち出しました。そして2010年には「子ども・子育てビジョン」が閣議決定され、「子どもが主人公（チルドレン・ファースト）」という考え方のもと、これまでの「少子化対策」から「子ども・子育て支援」へと視点を移し、社会全体で子育てを支えるとともに、「生活と仕事と子育ての調和」を目指すこととしました。

(町田市におけるこれまでの取り組み)

町田市では、2004年12月に「次世代育成支援対策推進法」に基づく、「町田市子どもマスタープラン」、また2010年に「町田市次世代育成支援対策推進後期行動計画」を策定し、すべての子どもと子育て家庭を対象に、次世代育成支援を総合的に推進してきました。

(策定の趣旨)

しかしながら、依然として少子化が進行していること、子どもや子育てをめぐる環境が多様化し、孤立感や負担感を覚える家庭があること、都市部では保育園が満員で多くの待機児童が発生していること、仕事と子育てと生活を両立できる環境が不十分など、多くの問題が山積しています。

こうした問題に対応するため、保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することを目的として、2012年8月に子ども・子育て関連3法（「子ども・子育て支援法」「認定こども園法の一部を改正する法律（略称）」「関係法律の整備等に関する法律（略称）」）が成立し、『子ども・子育て支援新制度』を2015年度に創設することとしました。そして、市区町村には「子ども・子育て支援法」第61条第1項に基づき、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制を整備するため、国の示す「基本指針」に基づき具体的な事業計画を策定することが義務付けられました。

「町田市子ども・子育て支援事業計画」は、この国の新たな考え方を踏まえ、策定するものです。

(参考：子育てをめぐる現状と課題)

- 急速な少子化の進行
- 結婚・出産・子育ての希望がかなわない現状
- 子ども・子育て支援が質・量ともに不足
- 子育ての孤立感と負担感の増加
- 深刻な待機児童問題
- 放課後児童クラブの不足「小1の壁」
- M字カーブ（30歳代で低い女性の労働力率）
- 質の高い幼児期の学校教育の振興の重要性
- 子育て支援の制度・財源の縦割り
- 地域の実情に応じた提供対策が不十分



質の高い幼児期の学校教育、
保育の総合的な提供

保育の量的拡大・確保、
教育・保育の質的改善
・待機児童の解消
・地域の保育を支援
・教育・保育の質的改善

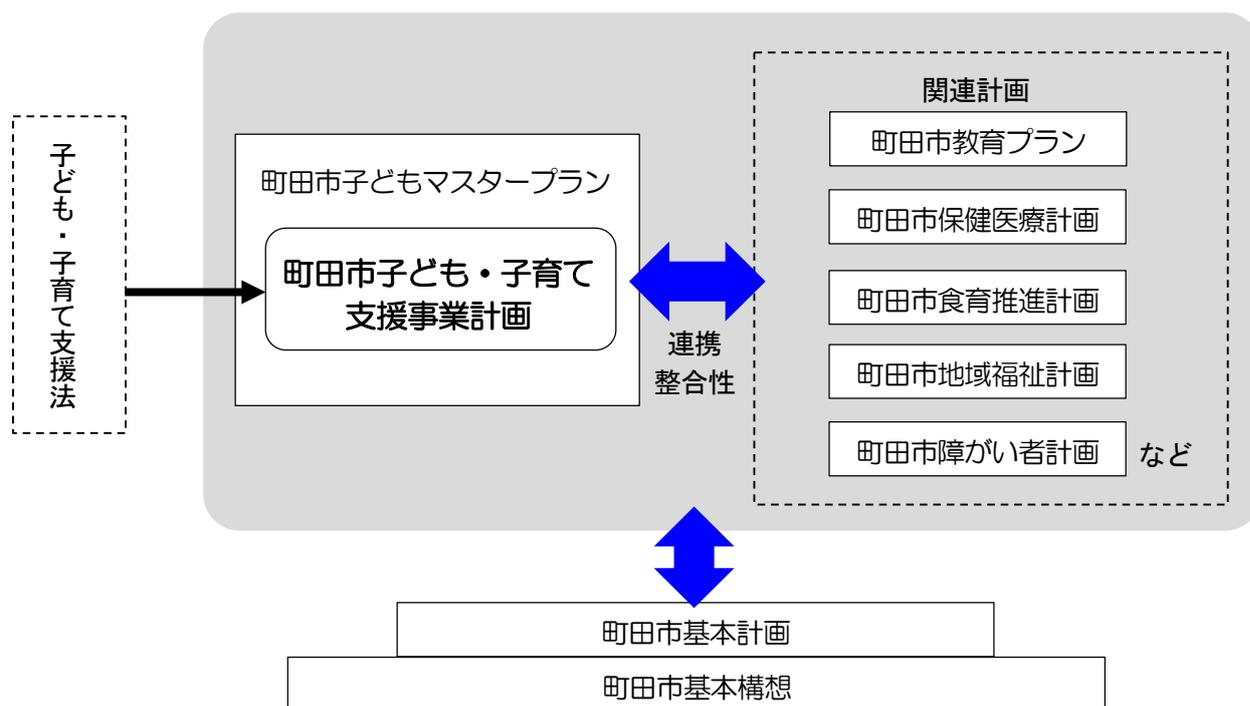
地域の子ども・子育て支援の充実

資料：内閣府

2. 計画の位置づけ

この計画は、「子ども・子育て支援法」第2条（基本理念）を踏まえ、第61条第1項に定められている「市町村・子ども子育て支援事業計画」として策定します。また、期間の延長が決まった次世代育成支援対策法に基づく「町田市子どもマスタープラン」に内包されます。

町田市におけるこれまでの取り組みの継続性を確保し、同時に上位計画である「町田市基本計画」や関連計画である「町田市教育プラン」「町田市保健医療計画」「町田市食育推進計画」「町田市地域福祉計画」「町田市障がい者計画」などとの連携・整合性を図っていきます。



～基本指針により定められている市町村子ども・子育て支援事業計画の記載事項～

【必須記載事項】

- ①教育・保育提供区域
- ②各年度における教育・保育提供区域ごとの教育・保育の量の見込み（必要利用定員総数）、提供体制確保の内容、実施時期
- ③各年度における教育・保育提供区域ごとの地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、提供体制確保の内容、実施時期
- ④教育・保育の一体的提供及び当該教育・保育の推進方策等

【任意記載事項】

- ①事業計画の理念等
- ②産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保に関する事項
- ③子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する都道府県が行う施策との連携に関する事項
- ④労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるようにするために必要な雇用環境の整備に関する施策との連携に関する事項
- ⑤市町村子ども・子育て支援事業計画の作成の時期
- ⑥市町村子ども・子育て支援事業計画の期間
- ⑦市町村子ども・子育て支援事業計画の達成状況の点検及び評価

3. 計画の策定方法

この計画の策定にあたっては、就学前児童（0～5歳）の保護者、小学生（1～3年生）の保護者へのアンケート調査を実施するとともに、関係団体の代表や公募市民などで構成する「子ども・子育て会議」において内容の検討を行い、策定作業を進めてきました。

（アンケート調査の実施）

就学前児童の保護者・小学生の保護者の子育ての実態や教育・保育ニーズなどを把握し、市民の意向を計画に反映するために、2種類のアンケート調査（以下、『アンケート調査結果』という。）を実施しました。

■ アンケート調査の概要

| 区 分 | 内 容 |
|------|---|
| 目 的 | 市民の保育サービスや子育て支援、子どもの日常生活に関する実態や要望・意見等を把握し、子ども・子育て支援法第61条に基づく『町田市子ども・子育て支援事業計画』策定の基礎資料を得る。 |
| 実施時期 | 2014年1月 |
| 調査対象 | ①就学前児童（0～5歳）の保護者 (2,745人) ②小学生（1～3年生）の保護者 (2,000人) |
| 回収状況 | ①就学前児童（0～5歳）の保護者 (1,673人、60.9%) ②小学生（1～3年生）の保護者 (1,146人、57.3%) |

（子ども・子育て会議の設置）

この計画の策定にあたっては、「子ども・子育て支援法」第77条第1項に基づき、関係者による「町田市子ども・子育て会議」を設置し意見を求めました。会議では、アンケート調査結果や施策・事業の進捗状況、パブリックコメントの結果等を踏まえ、町田市子ども・子育て支援事業計画の審議を行いました。

（パブリックコメントの実施）

この計画を議論する上での参考とするため、ホームページ等において計画素案を広報し、広く市民の意見を募りました。

4. 計画の期間

この計画は、2015年度を初年度とし2019年度までの5年間を対象としています。

なお、社会情勢の変化に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

| | | (年度) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------------------------|-------------------|-----|-----|-----|-----|-------------------|-----|-----|-----|
| | | '05 | '06 | '07 | '08 | '09 | '10 | '11 | '12 | '13 | '14 | '15 | '16 | '17 | '18 | '19 | '20 | '21 | '22 | '23 | '24 |
| 国 | | 次世代育成支援対策行動計画 | | | | | | | | | | 次世代育成支援対策行動計画 (策定は任意) | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 子ども・子育て 支援事業計画 | | | | | 子ども・子育て 支援事業計画 | | | |
| 町田市 | | 町田市子どもマスタープラン | | | | | | | | | | (仮称) 町田市子どもマスタープラン | | | | | | | | | |
| | | 町田市次世代育成 支援対策推進後期 行動計画 | | | | | | | | | | 町田市 子ども・子育て 支援事業計画 | | | | | | | | | |

第2章 子どもと家庭を取り巻く状況

1. 子どもと家庭を取り巻く状況

(1) 少子化の進行

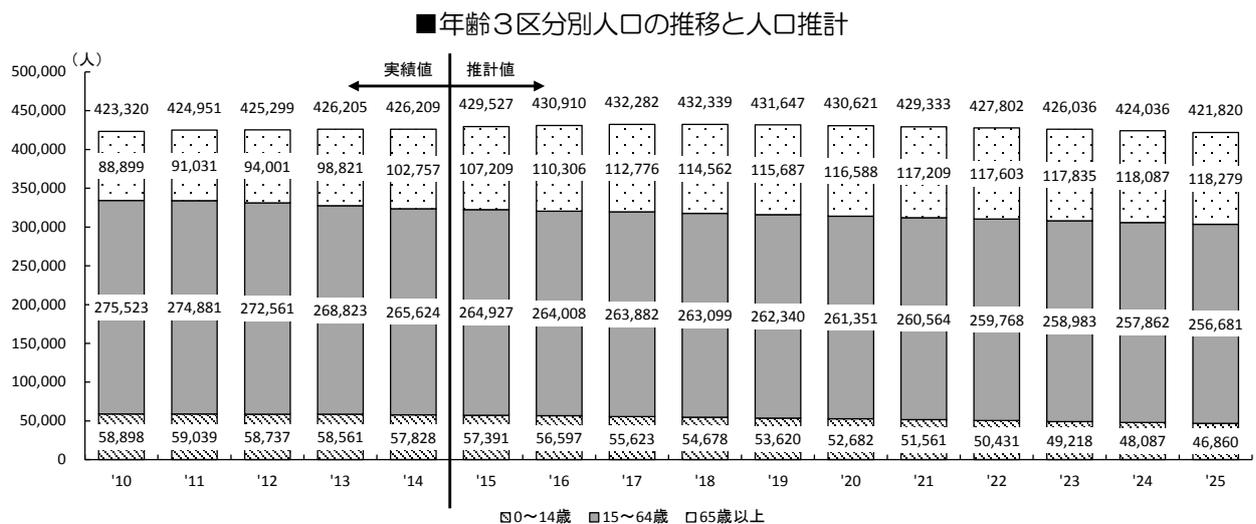
①人口

ア 人口・年齢3区分別人口

町田市の人口は一貫して増加しており、2004年には40万人を超え、2014年4月1日現在426,209人となっています。

年齢3区分別人口の推移をみると、15歳未満の年少人口は、2011年以降微減しています。15歳～64歳の生産年齢人口も毎年減少しているのに対し、65歳以上の高齢者人口は、毎年一貫して増加しています。

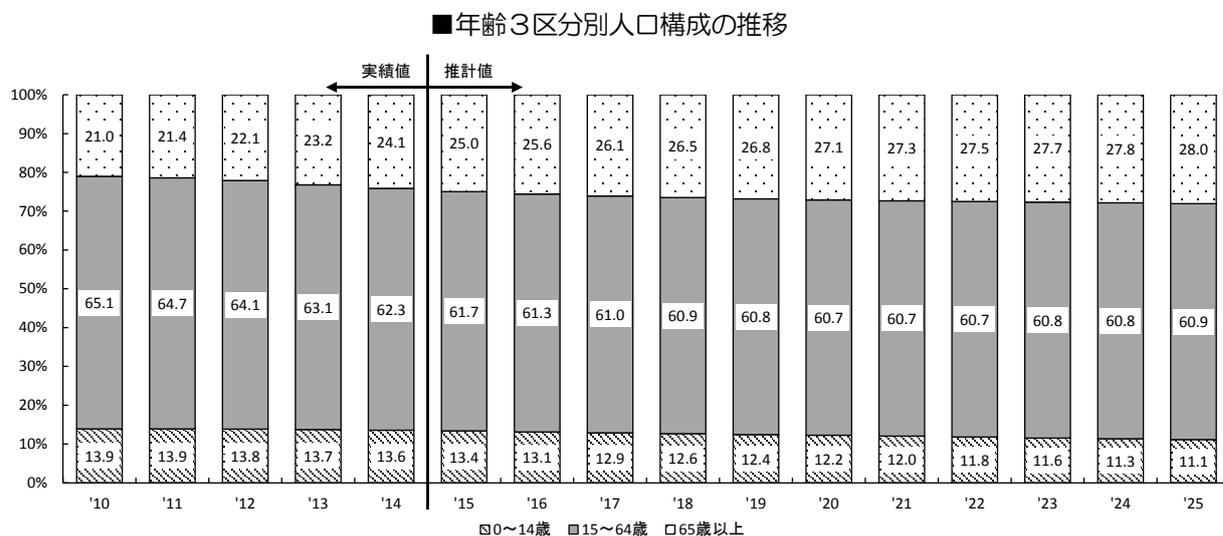
町田市の将来人口は、2018年まで微増すると予測されていますが、年少人口は今後も減少し続け、2023年には5万人を切ると見込まれています。



(注) 各年4月1日現在である。

資料：町田市「年齢別人口表」「外国人登録人口」

総人口に占める年齢3区分別人口の割合をみると、2014年現在年少人口が13.6%、生産年齢人口が62.3%、老年人口が24.1%となっており、全国の割合（年少人口12.2%、生産年齢人口59.5%、老年人口28.3%）に比べて、町田市は老年人口の割合が低く、年少人口及び生産年齢人口の割合が高くなっています。



(注) 各年4月1日現在である。

資料：町田市「年齢別人口表」「外国人登録人口」

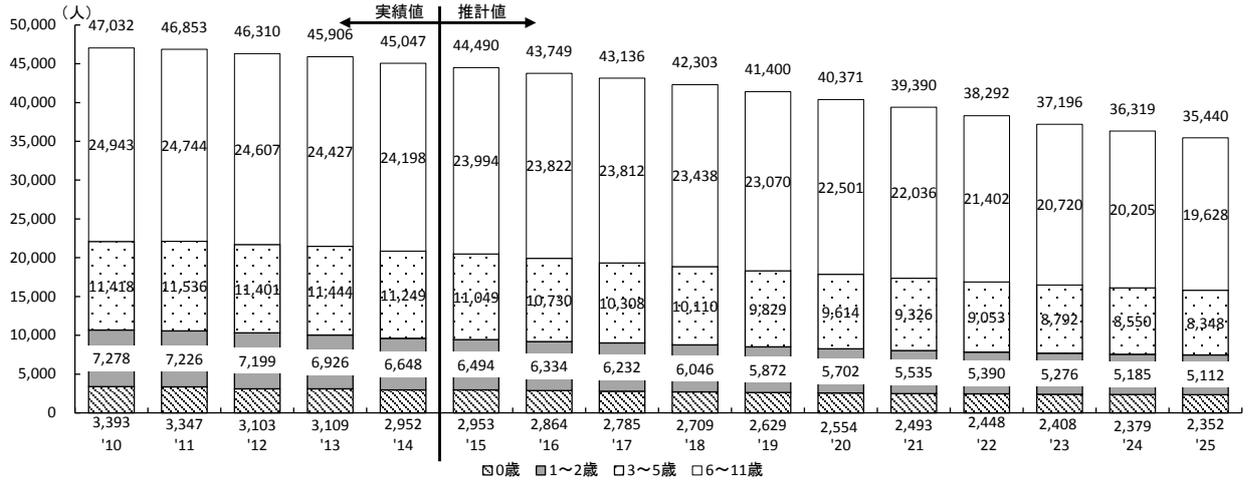
イ 子どもの人口（0～11歳：小学生まで）

町田市の子どもの人口は、毎年減少しており、2014年現在45,047人となっています。この減少傾向は、今後も続くと推計されており、2021年には4万人を切ると考えられます。

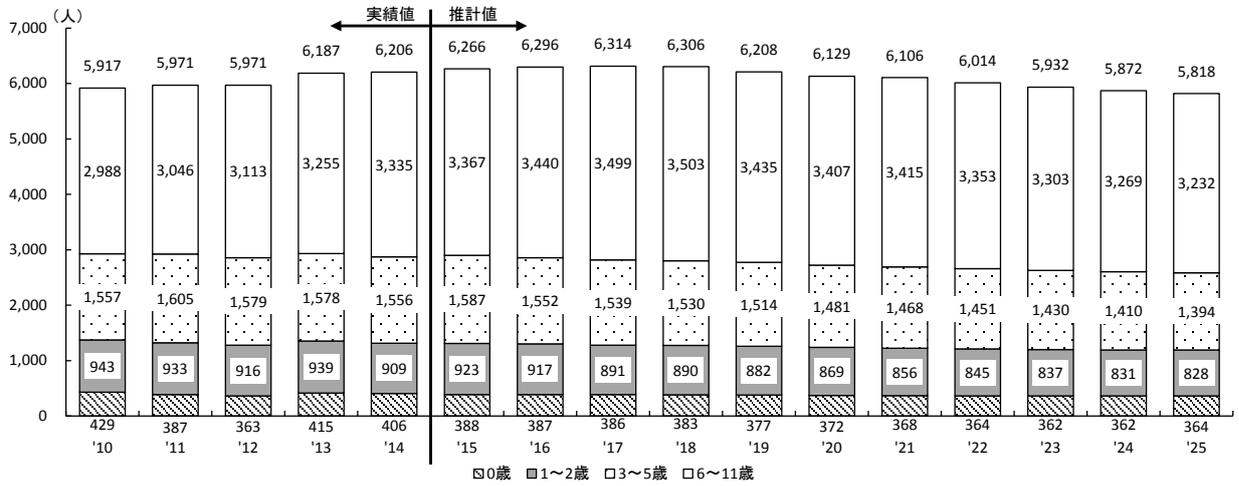
5地域別にみると、境地域の子どもの人口は、増加傾向にあり、2014年現在6,206人となっています。この増加傾向は、2017年まで続き、以後減少していくと推計されています。

堺地域以外の4つの地域の子どもの人口は毎年減少しており、2014年現在、忠生地域は8,532人、町田地域は8,460人、鶴川地域は10,040人、南地域は11,809人となっています。この減少傾向は、今後も続くと推計されています。

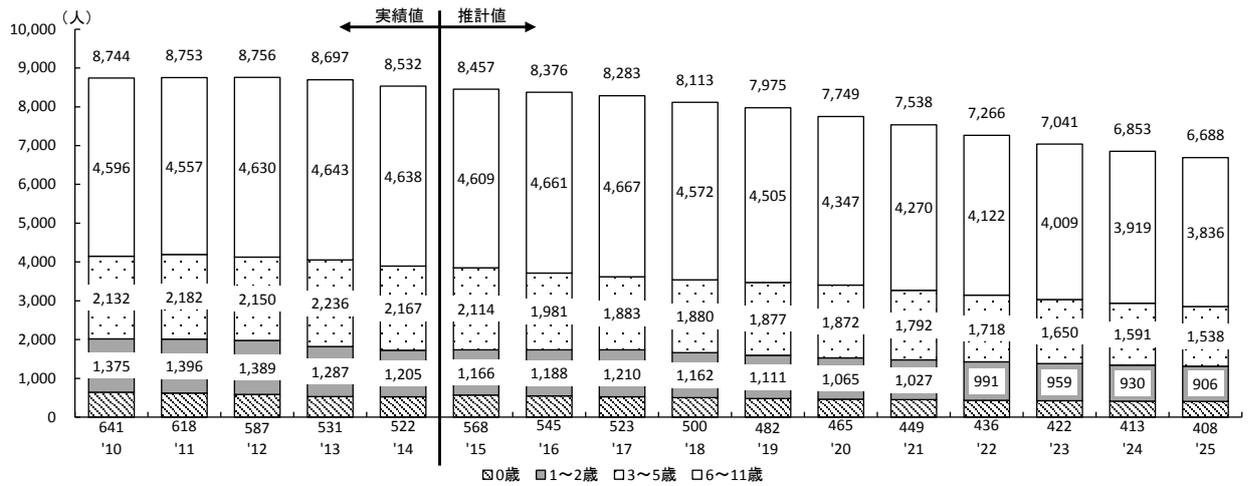
■年齢別子どもの人口の推移
【市全体】



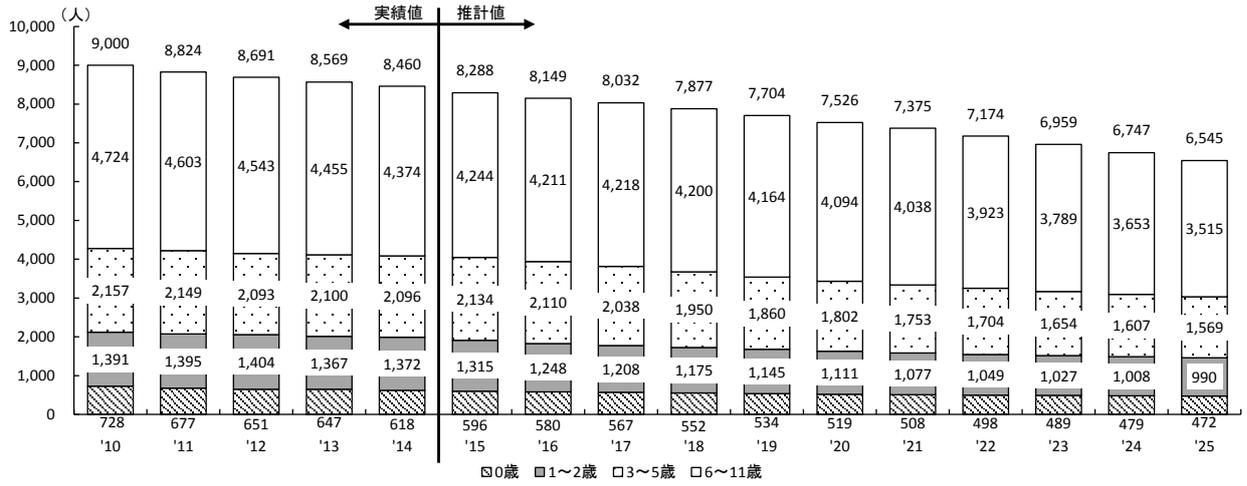
【堺地域】



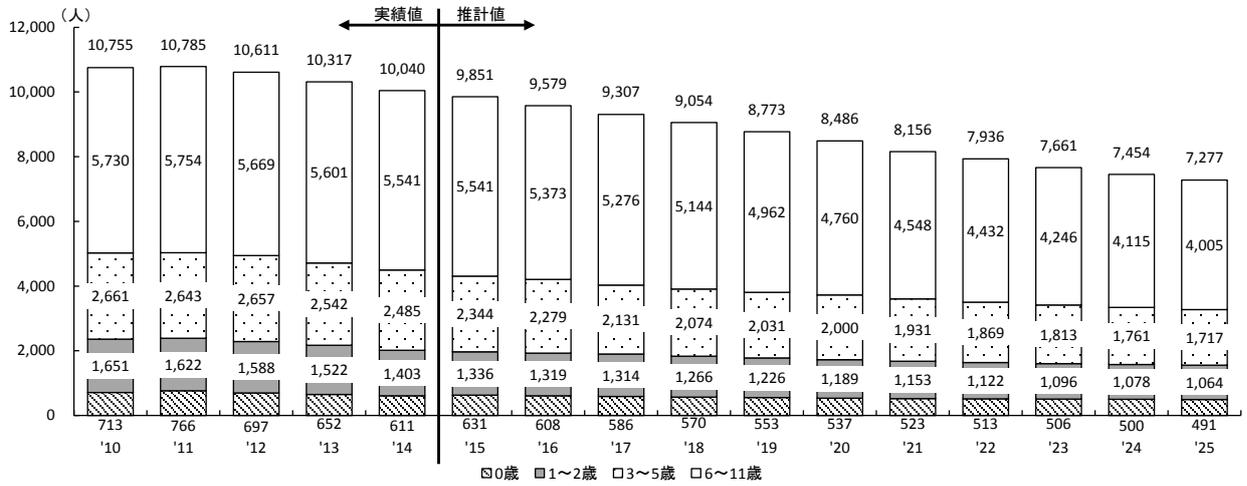
【忠生地域】



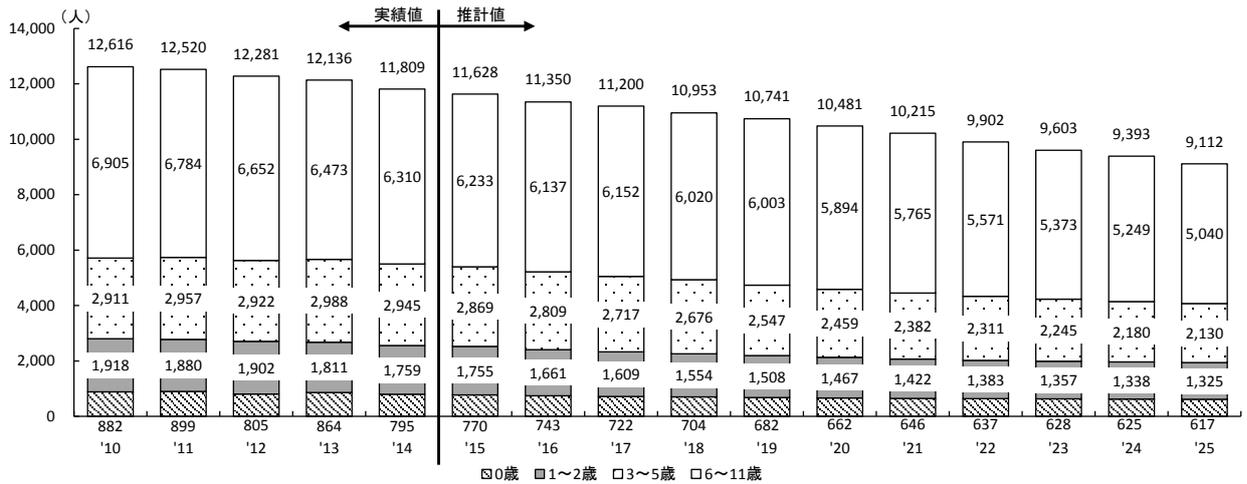
【町田地域】



【鶴川地域】



【南地域】



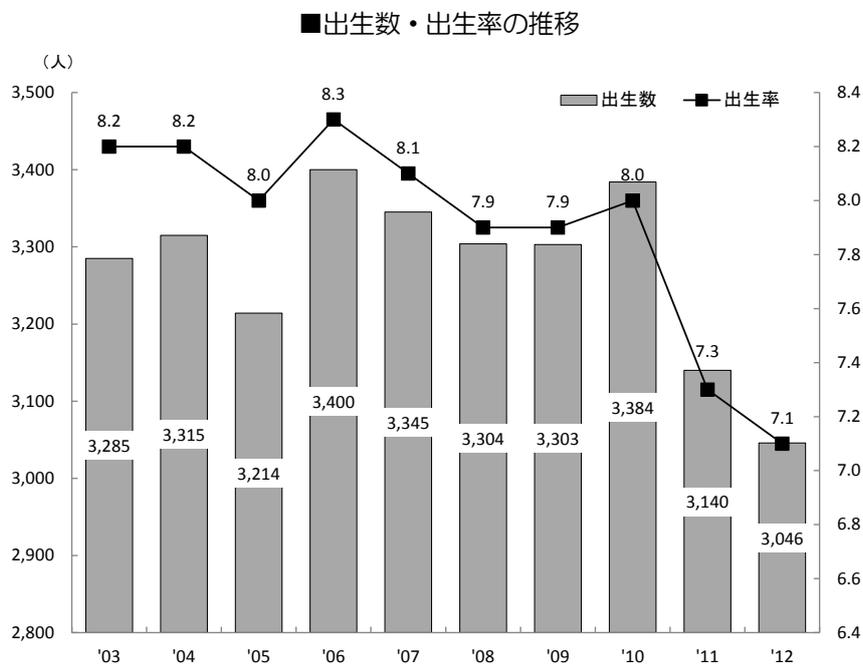
(注) 各年4月1日現在である。

資料：町田市「年齢別人口表」「外国人登録人口」

②人口動態

ア 出生数・出生率

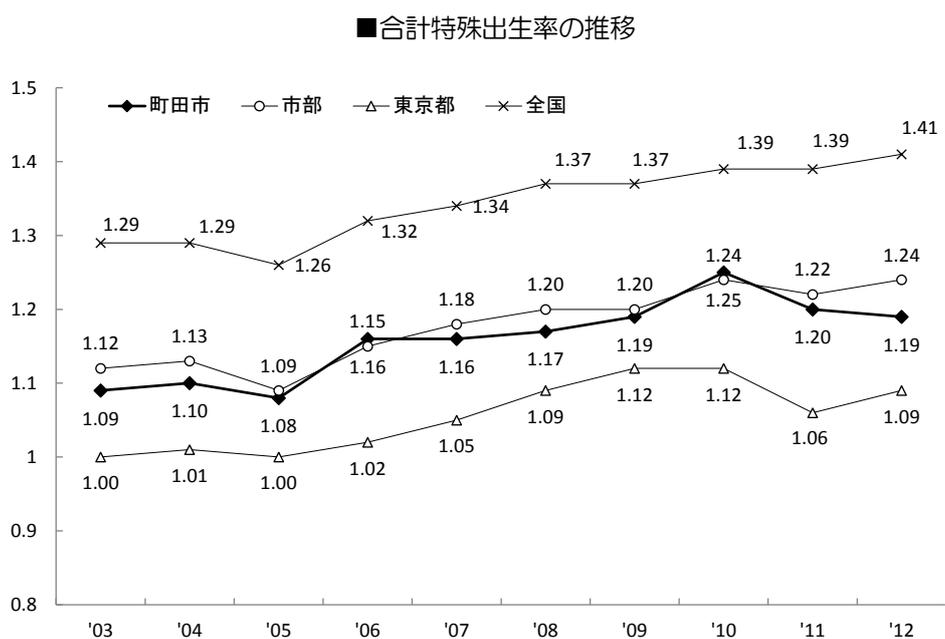
町田市の2012年の出生数は3,046人となっています。毎年3千人台で推移していますが、2011年から減少傾向となっています。また、出生率も同じく低下しています。



資料：東京都「人口動態統計」

イ 合計特殊出生率

町田市の2012年の合計特殊出生率は1.19となっています。東京都平均（1.09）は上回っていますが、東京都市部平均（1.24）、全国平均（1.41）より低くなっています。

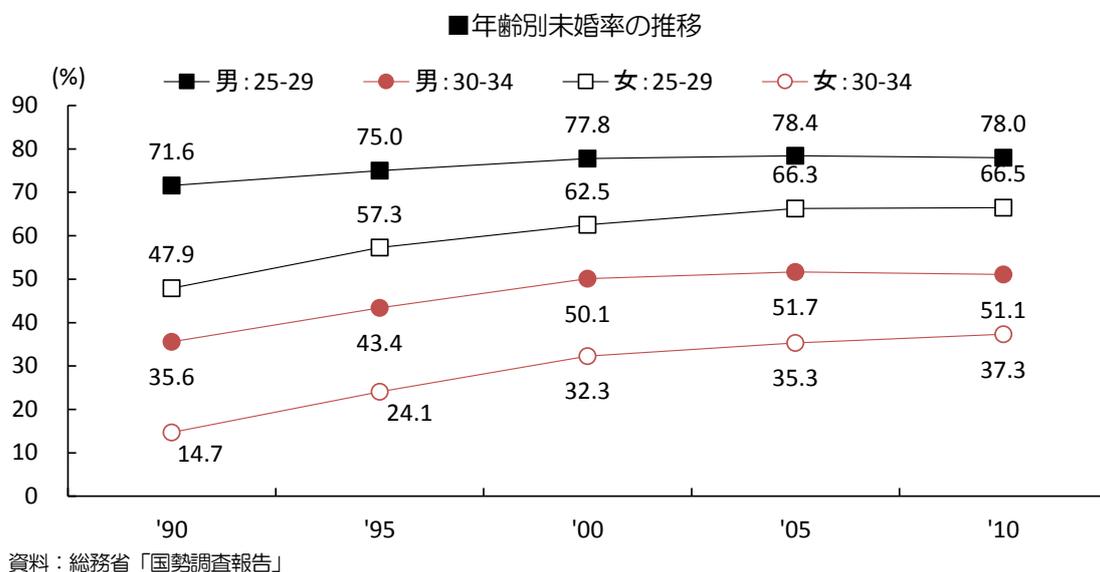


資料：東京都「人口動態統計」

③少子化の背景

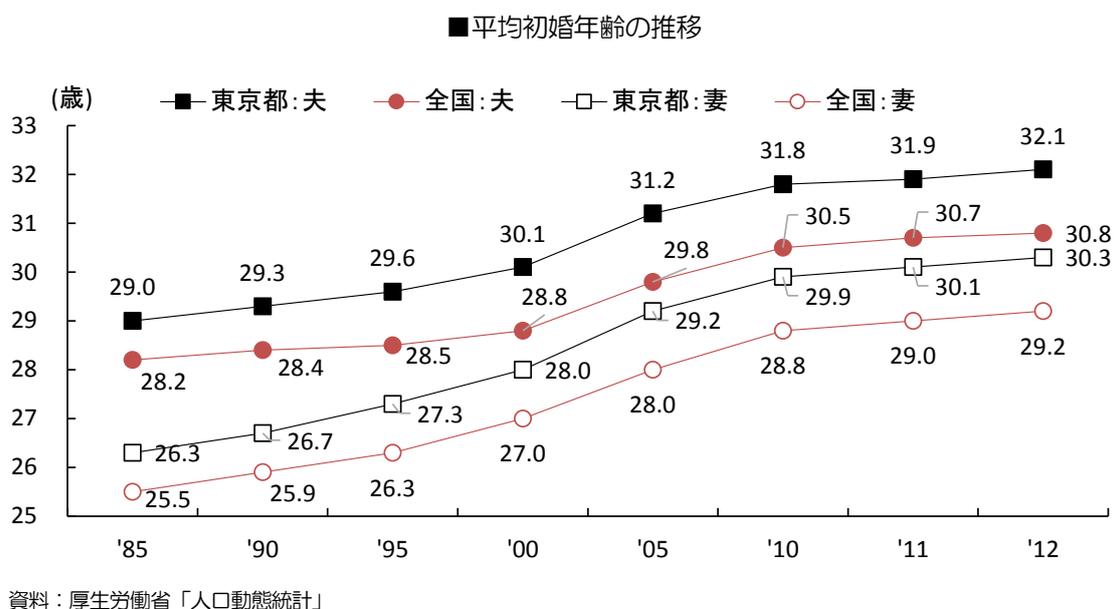
ア 未婚率

少子化のひとつの要因として晩婚化の進行による未婚率の上昇があげられています。町田市の未婚率の推移をみると、上昇傾向にあることが伺えますが、近年、横ばい傾向となっています。



イ 平均初婚年齢

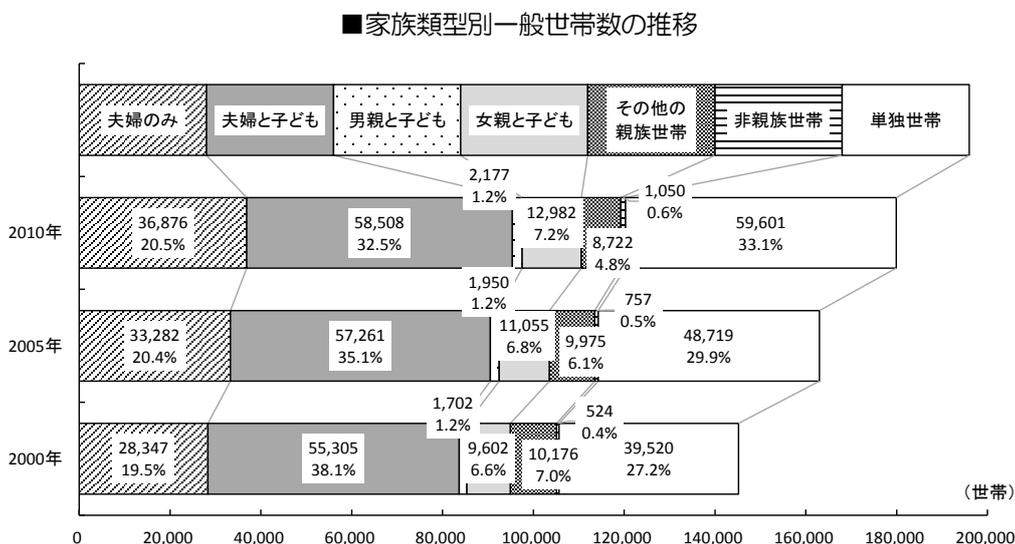
東京都における平均初婚年齢は、2012年現在、夫 32.1 歳、妻 30.3 歳で全国平均の夫 30.8 歳、妻 29.2 歳を上回っています。



(2) 子育て世帯の状況

① 家族類型別一般世帯数

2010年の国勢調査によると、町田市の一般世帯数は、179,923世帯となっており、増加傾向となっています。「夫婦のみ世帯」「単独世帯」などの世帯数・構成比率が増加する中、「夫婦と子ども」の世帯数は増加傾向にあるものの、構成比率は減少しています。

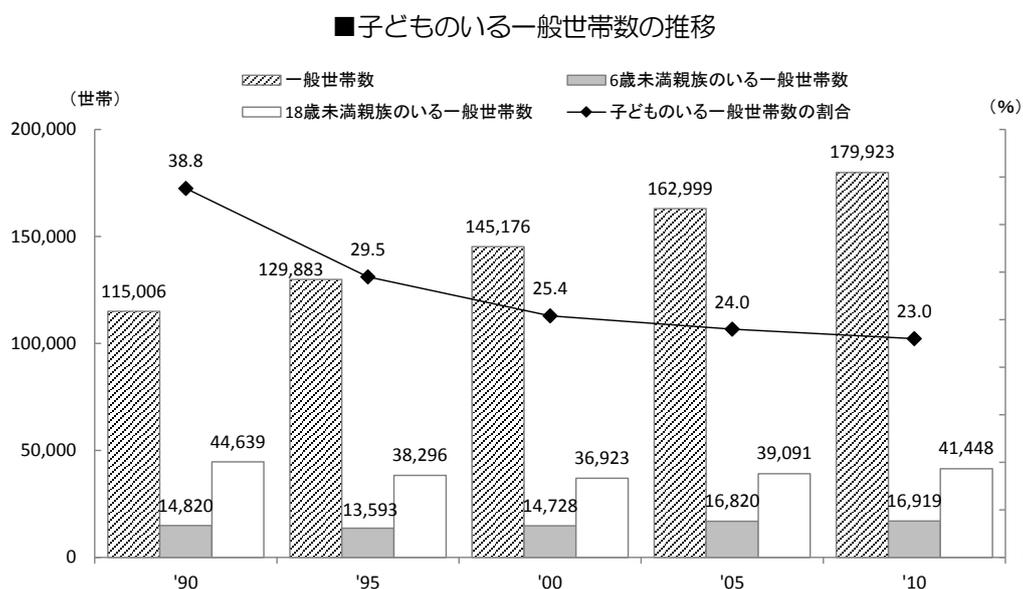


資料：総務省「国勢調査報告」

② 子育て世帯の状況

町田市の「6歳未満親族のいる一般世帯数」は1995年まで、「18歳未満親族のいる一般世帯数」は2000年までそれぞれ減少傾向にありましたが、それ以降増加傾向となっています。

また、「子どものいる一般世帯数の割合」を1990年と2010年とで比較すると、1990年が38.8%と約3世帯に1世帯、2010年には23.0%で約4世帯に1世帯が子どものいる世帯となっています。



資料：総務省「国勢調査報告」

■世帯の家族類型別一般世帯数の推移

(単位：世帯、%)

| 区 分 | | 1990年 | 1995年 | 2000年 | 2005年 | 2010年 |
|--------------------|----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 一般世帯 6歳未満親族のいる | 合 計 | 14,820 | 13,593 | 14,728 | 16,820 | 16,919 |
| | 夫婦と子ども | 12,529 (84.5) | 11,623 (85.5) | 12,791 (86.8) | 14,790 (87.9) | 15,004 (88.7) |
| | ひとり親と子ども | 283 (1.9) | 379 (2.8) | 597 (4.1) | 670 (4.0) | 784 (4.6) |
| | 三世帯 | 1,760 (11.9) | 1,333 (9.8) | 1,049 (7.1) | 974 (5.8) | 620 (3.7) |
| | その他 | 248 (1.7) | 258 (1.9) | 291 (2.0) | 386 (2.3) | 511 (3.0) |
| 一般世帯 18歳未満親族のいる | 合計 | 44,639 | 38,296 | 36,923 | 39,091 | 41,448 |
| | 夫婦と子ども | 35,858 (80.3) | 30,682 (80.1) | 29,702 (80.4) | 31,544 (80.7) | 33,548 (80.9) |
| | ひとり親と子ども | 2,587 (5.8) | 2,463 (6.4) | 2,948 (8.0) | 3,502 (9.0) | 4,321 (10.4) |
| | 三世帯 | 5,156 (11.6) | 4,184 (10.9) | 3,280 (8.9) | 2,826 (7.2) | 2,142 (5.2) |
| | その他 | 1,038 (2.3) | 967 (2.5) | 993 (2.7) | 1,219 (3.1) | 1,437 (3.5) |

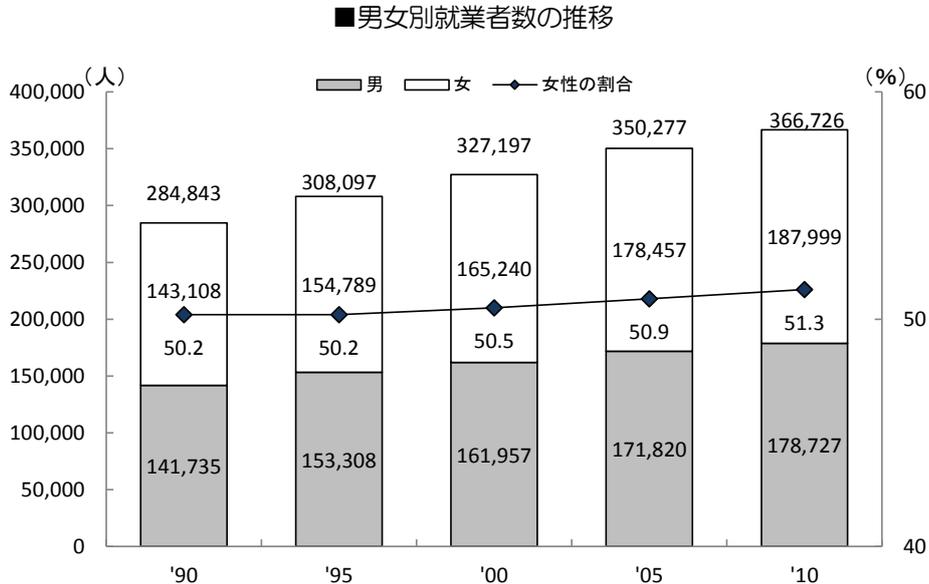
(注) ()内の値は、子どものいる世帯数に占める割合である。

資料：総務省「国勢調査報告」

(3) 働く女性の状況

①女性の就業者数

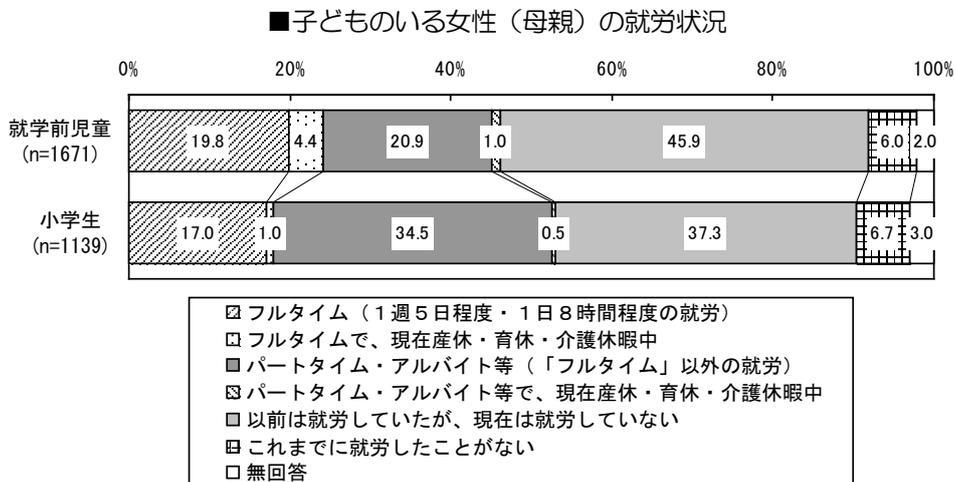
町田市の女性の就業者数は、2010年10月1日現在187,999人を数え、就業者全体の51.3%を占めています。また、1990年と比べて44,891人、31.4%増加しており、この間の男性就業者の増加率(26.1%)を上回っています。



資料：総務省『国勢調査報告』

②子どものいる女性(母親)の就労状況

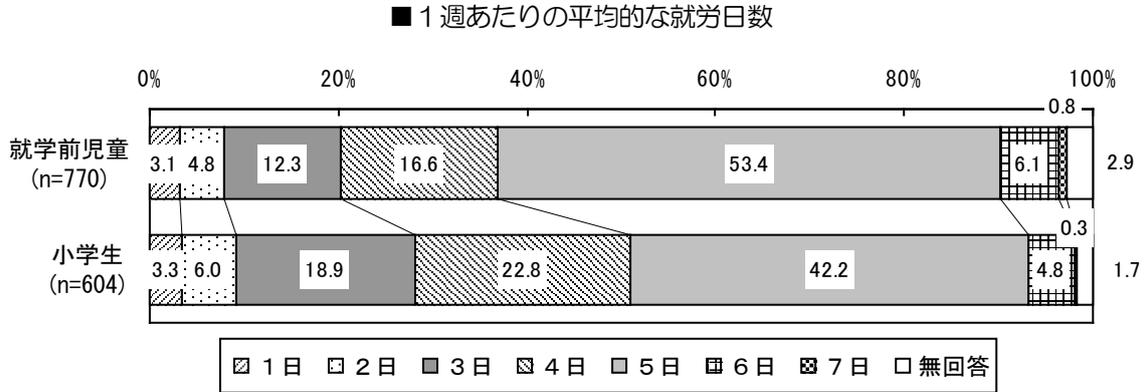
町田市の子どものいる女性(母親)の就労状況をみると、就学前児童の保護者では「フルタイム」「フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中」「パートタイム・アルバイト等」「パートタイム・アルバイト等で、現在産休・育休・介護休暇中」を合わせた“就労している”が46.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまでに就労したことがない」を合わせた“就労していない”が51.9%となっています。小学生の保護者では、“就労している”が53.0%、“就労していない”が44.0%となっています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

③ 1週あたりの平均的な就労日数

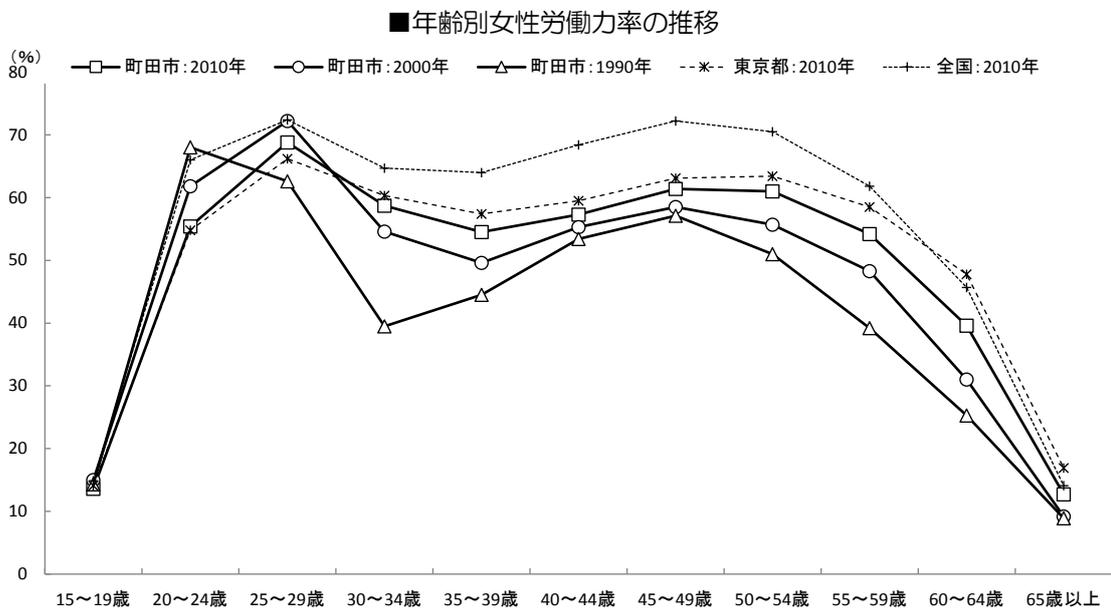
就労状況で“就労している”と回答した人の1週あたりの平均的な就労日数をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「5日」が最も多く（それぞれ53.4%、42.2%）、次いで「4日」（それぞれ16.6%、22.8%）、「3日」（それぞれ12.3%、18.9%）と続いています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

④ 女性の労働力

女性の労働力を年齢別にみると、25歳～29歳と45歳～49歳を頂点とし、35歳～39歳を谷とする浅いM字型を示しています。かつては結婚や出産を機にいったん仕事を離れ、その後再び就労する女性が多くみられましたが、現在では結婚・出産後も就労する人が増加しており、より緩やかなM字型となっています。

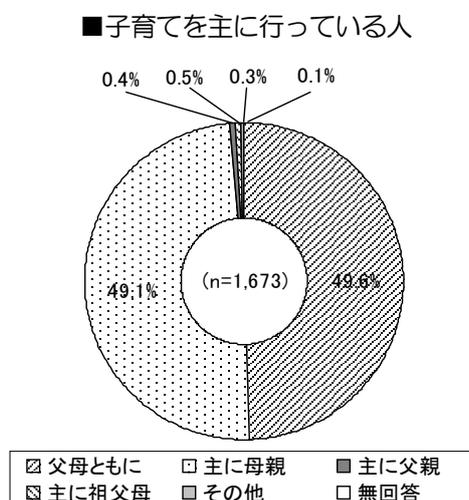


資料：総務省『国勢調査報告』

(4) 子育ての状況と子育て世帯のニーズ

①子育てを主に行っている人（就学前児童）

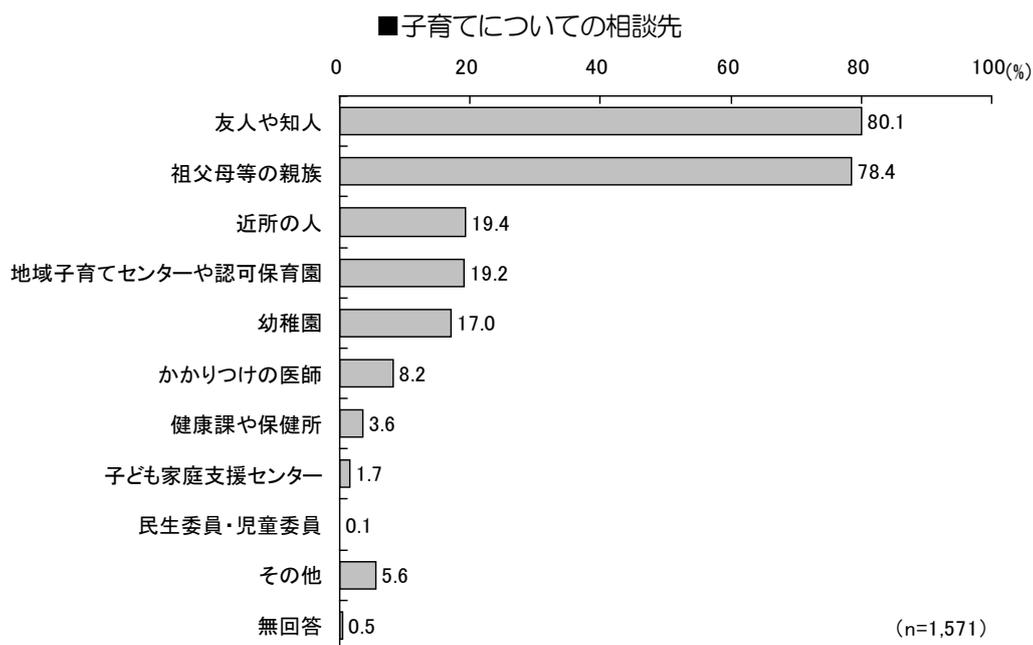
子育てを主に行っている人を見ると、就学前児童の保護者では、「父母ともに」が最も多く49.6%、次いでほぼ同じ割合で「主に母親」が49.1%となっています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

②子育てについての相談先（就学前児童）

子育てについて気軽に相談できる人・場所が「いる/ある」と回答した人の相談先は、「友人や知人」が最も多く80.1%、「祖父母等の親族」(78.4%)もほぼ同じ割合を示しています。次いで「近所の人」が19.4%、「地域子育てセンターや認可保育園」が19.2%、「幼稚園」が17.0%と続いています。

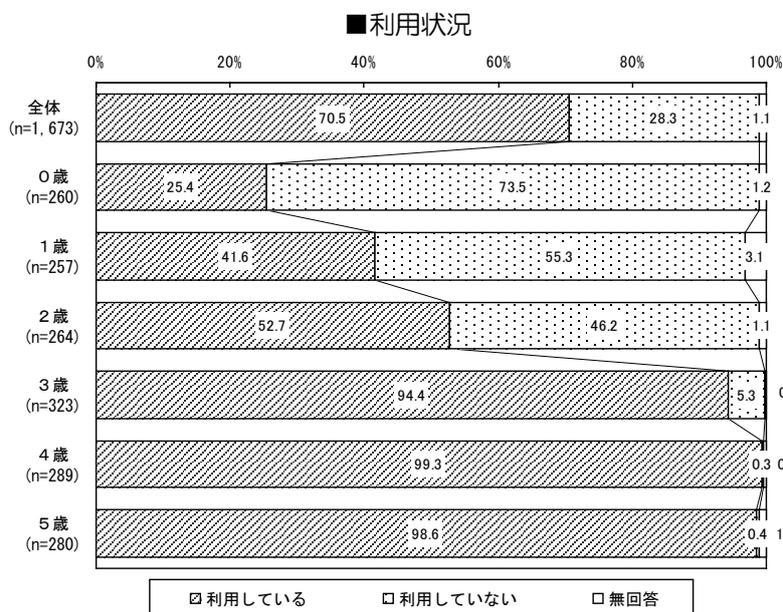


資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

③平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前児童）

ア 利用状況

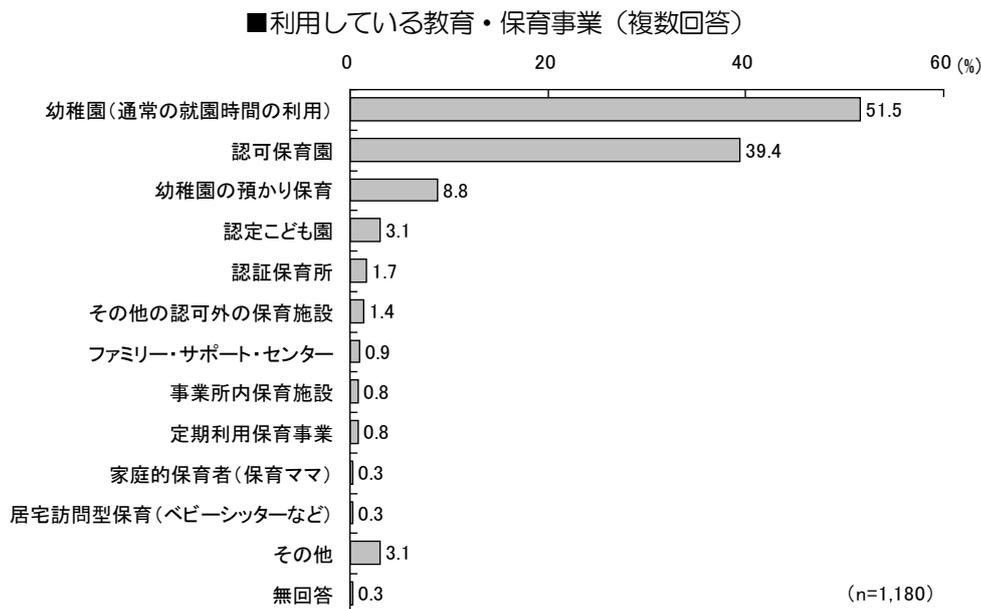
平日の教育・保育事業の利用状況をみると、「利用している」が70.5%、「利用していない」が28.3%となっています。子どもの年齢別にみると、「利用している」は、0歳児が25.4%、1歳児が41.6%、2歳児が52.7%、3歳児が94.4%、4歳児が99.3%、5歳児が98.6%となっています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

イ 利用している教育・保育事業

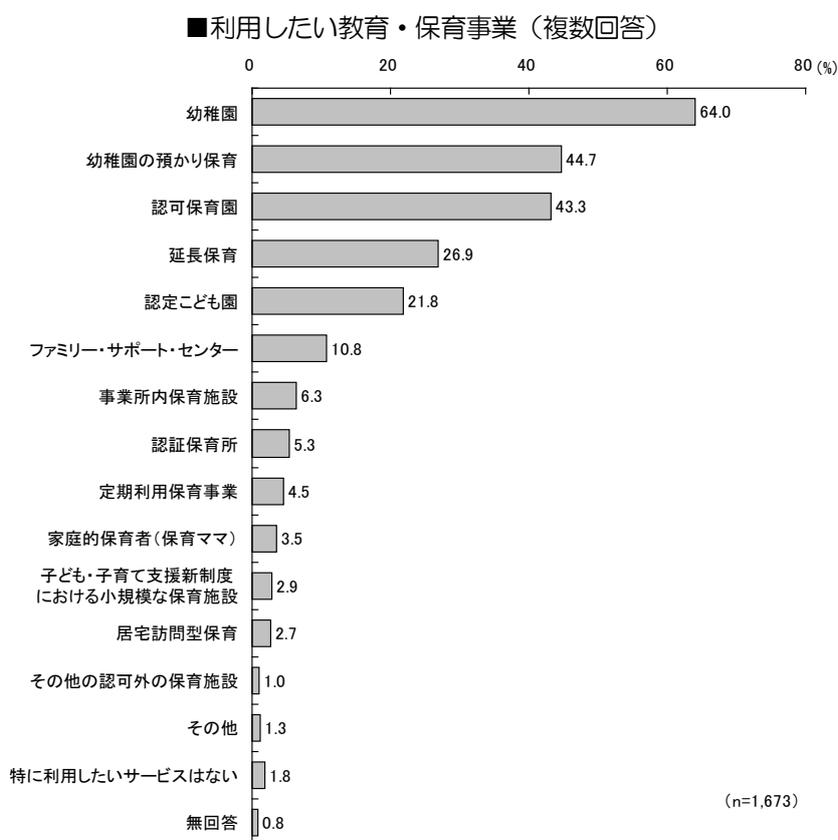
平日の教育・保育事業を「利用している」と回答した人の利用している事業をみると、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が最も多く51.5%、次いで「認可保育園」が39.4%、「幼稚園の預かり保育」が8.8%と続いています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

ウ 利用したい教育・保育事業

利用したい教育・保育事業をみると、「幼稚園」が最も多く64.0%、次いで「幼稚園の預かり保育」が44.7%、「認可保育園」が43.3%と続いています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

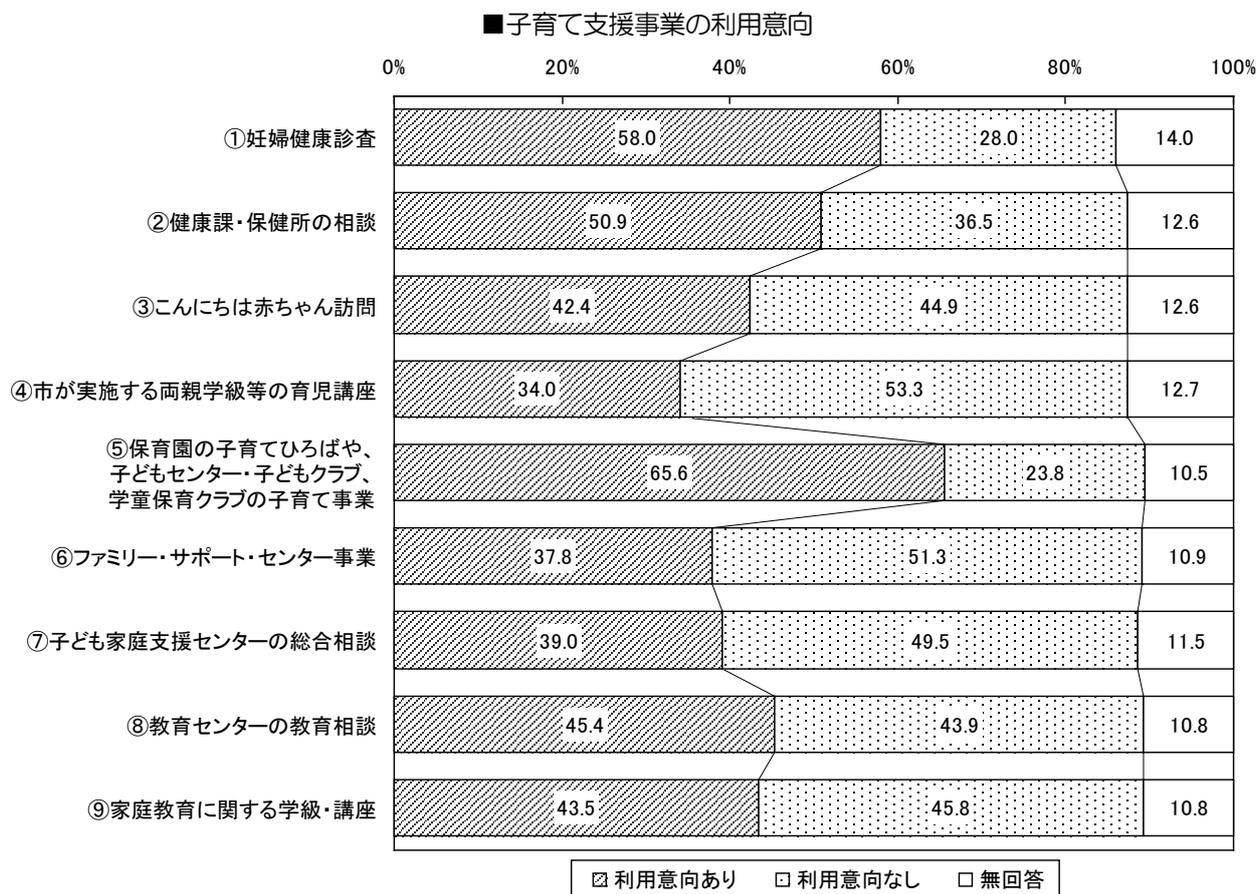
(単位：人、%)

| 区分 | 件数 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
|--------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 1,673 | 260 | 257 | 264 | 323 | 289 | 280 |
| 幼稚園 | 64.0 | 52.7 | 60.3 | 67.0 | 66.6 | 71.6 | 63.9 |
| 幼稚園の預かり保育 | 44.7 | 36.2 | 34.6 | 47.7 | 49.2 | 53.6 | 44.3 |
| 認可保育園 | 43.3 | 62.7 | 56.0 | 42.4 | 37.8 | 27.7 | 36.8 |
| 延長保育 | 26.9 | 32.3 | 29.2 | 27.7 | 24.8 | 22.8 | 25.7 |
| 認定こども園 | 21.8 | 30.8 | 25.7 | 20.8 | 20.1 | 18.3 | 16.4 |
| ファミリー・サポート・センター | 10.8 | 13.5 | 10.5 | 8.3 | 10.2 | 9.7 | 12.9 |
| 事業所内保育施設 | 6.3 | 8.5 | 7.0 | 6.1 | 5.3 | 4.2 | 7.5 |
| 認証保育所 | 5.3 | 13.5 | 6.6 | 4.9 | 3.1 | 1.7 | 3.2 |
| 定期利用保育事業 | 4.5 | 6.5 | 5.8 | 6.4 | 2.5 | 2.1 | 4.6 |
| 家庭的保育者(保育ママ) | 3.5 | 9.6 | 3.1 | 2.3 | 2.2 | 1.7 | 2.9 |
| 子ども・子育て支援新制度における小規模な保育施設 | 2.9 | 5.8 | 3.1 | 2.7 | 1.5 | 1.7 | 2.9 |
| 居宅訪問型保育 | 2.7 | 3.5 | 3.9 | 3.0 | 2.5 | 2.1 | 1.8 |
| その他の認可外の保育施設 | 1.0 | 1.9 | 1.2 | 1.1 | 0.9 | 0.7 | 0.4 |
| その他 | 1.3 | 1.2 | 1.2 | 1.5 | 0.6 | 1.7 | 1.4 |
| 特に利用したいサービスはない | 1.8 | 3.1 | 1.6 | 0.4 | 0.6 | 1.7 | 3.6 |
| 無回答 | 0.8 | 1.2 | 0.8 | 0.8 | 0.3 | 1.0 | 0.7 |

④子育て支援事業の利用意向（就学前児童）

子育て支援事業の今後の利用意向をみると、「⑤保育園の子育てひろばや、子どもセンター・子どもクラブ、学童保育クラブの子育て事業」が最も多く65.6%、次いで「①妊婦健康診査」が58.0%、「②健康課・保健所の相談」が50.9%と続いています。

年齢別にみても、ほぼ全体と同じ傾向を示しているが、「⑧教育センターの教育相談」を除き、年齢が上がるにつれて、利用意向が低くなる傾向を示しています。

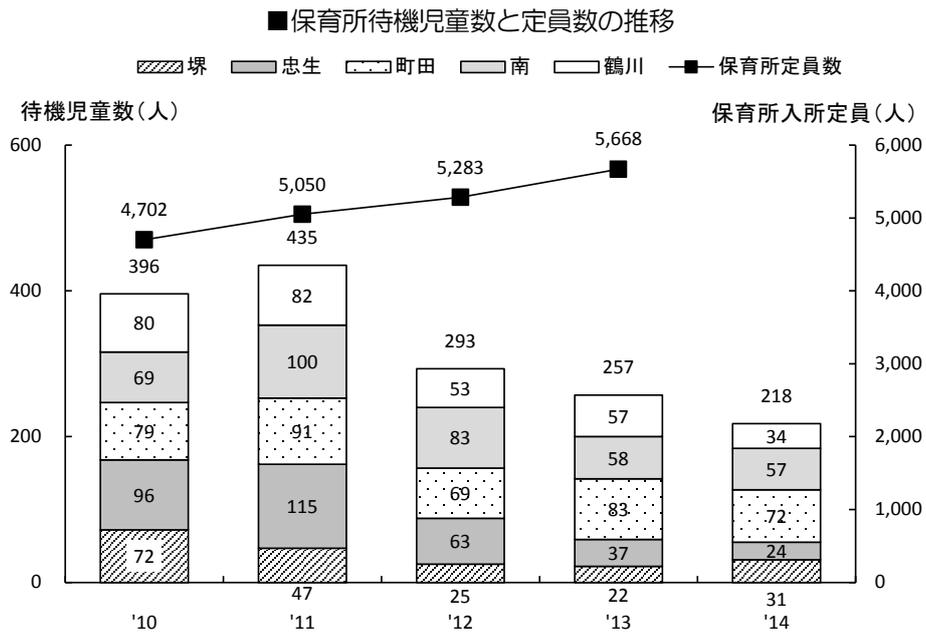


2. 教育・保育の提供状況

(1) 保育所待機児童数と定員数の推移

町田市の2014年現在における待機児童数は、218人となっています。同じく、保育所定員数は●で、保育所の新設等による保育所入所定員数の増加に伴い、待機児童数は毎年減少傾向にあります。解消には至っていません。

地区別に待機児童数をみると、町田が最も多く72人、次いで鶴川が57人となっています。年齢別にみると1歳児が最も多く56.4%を占めています。



(注) 各年4月1日現在である。

■ 地区別年齢別待機児童数 (2014年)

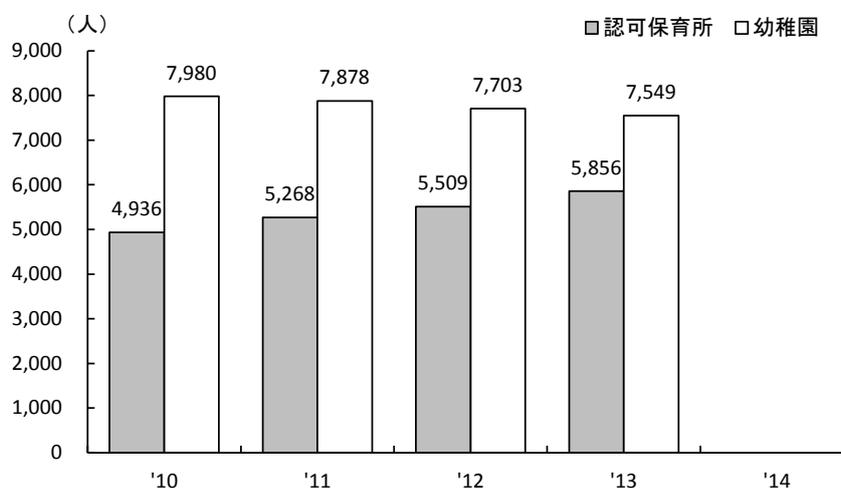
(単位: 人、%)

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|-------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 堺 | 2 | 20 | 7 | 2 | 0 | 0 | 31 |
| 忠生 | 6 | 7 | 11 | 0 | 0 | 0 | 24 |
| 町田 | 13 | 28 | 20 | 0 | 0 | 1 | 72 |
| 南 | 1 | 19 | 11 | 1 | 1 | 1 | 34 |
| 鶴川 | 6 | 39 | 7 | 2 | 2 | 1 | 57 |
| 市全体 | 28 | 123 | 56 | 5 | 3 | 3 | 218 |
| 年齢別割合 | 12.8 | 56.4 | 25.7 | 2.3 | 1.4 | 1.4 | - |

(2) 認可保育所と幼稚園在籍園児数の推移

町田市の2014年現在における保育所園児数は●人、幼稚園児数は●人となっており、毎年、保育所園児数が増加傾向であるのに対し、幼稚園児数は減少傾向となっています。

■認可保育所と幼稚園在籍園児数の推移



(注) 認可保育所は各年4月1日現在、幼稚園は各年5月1日現在である。

(3) 教育・保育施設のニーズ量と供給量 (2014年4月1日)

町田市の2014年現在における教育・保育施設のニーズ量と供給量をみると、市全体では、0歳児から3歳児までは、ニーズ量が供給量を上回っています。特に待機児童が多い1歳児で供給量不足であるということが伺えます。その一方で、4歳児から5歳児は供給過多になっていることが伺えます。

5地域別にみると、忠生、町田、南において3歳児から5歳児への供給量が多くなっています。

【町田市全体】

(単位：人、%)

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| ニーズ量(A)人口 | 2,952 | 3,274 | 3,374 | 3,686 | 3,786 | 3,777 | 20,849 |
| 供給量(B) | 578 | 1,004 | 1,255 | 3,597 | 4,492 | 4,503 | 15,429 |
| 認可保育所 | 515 | 888 | 1,100 | 1,183 | 1,186 | 1,194 | 6,066 |
| 家庭的保育 | 17 | 31 | 31 | 0 | 0 | 0 | 79 |
| 認証保育所 | 46 | 85 | 79 | 45 | 24 | 25 | 304 |
| 幼稚園 | 0 | 0 | 45 | 2,369 | 3,282 | 3,284 | 8,980 |
| ニーズ量-供給量(A-B) | 2,374 | 2,270 | 2,119 | 89 | -706 | -726 | 5,420 |
| 教育・保育サービス提供率 | 19.6 | 30.7 | 37.2 | 97.6 | 118.6 | 119.2 | 74.0 |
| 待機児童数 | 28 | 123 | 56 | 5 | 3 | 3 | 218 |

【堺地域】

(単位：人、%)

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------------|------|------|------|------|------|------|-------|
| ニーズ量(A)人口 | 406 | 439 | 470 | 515 | 542 | 499 | 2,871 |
| 供給量(B) | 83 | 112 | 141 | 276 | 313 | 317 | 1,242 |
| 認可保育所 | 75 | 96 | 125 | 142 | 145 | 149 | 732 |
| 家庭の保育 | 2 | 4 | 4 | - | - | - | 10 |
| 認証保育所 | 6 | 12 | 12 | 4 | 3 | 3 | 40 |
| 幼稚園 | - | - | - | 130 | 165 | 165 | 460 |
| ニーズ量-供給量(A-B) | 323 | 327 | 329 | 239 | 229 | 182 | 1,629 |
| 教育・保育サービス提供率 | 20.4 | 25.5 | 30.0 | 53.6 | 57.7 | 63.5 | 43.3 |
| 待機児童数 | 2 | 20 | 7 | 2 | 0 | 0 | 31 |

【忠生地域】

(単位：人、%)

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| ニーズ量(A)人口 | 522 | 577 | 628 | 684 | 755 | 728 | 3,894 |
| 供給量(B) | 127 | 248 | 309 | 798 | 1,070 | 1,074 | 3,626 |
| 認可保育所 | 125 | 244 | 305 | 308 | 310 | 314 | 1,606 |
| 家庭の保育 | 2 | 4 | 4 | - | - | - | 10 |
| 認証保育所 | - | - | - | - | - | - | 0 |
| 幼稚園 | - | - | - | 490 | 760 | 760 | 2,010 |
| ニーズ量-供給量(A-B) | 395 | 329 | 319 | -114 | -315 | -346 | 268 |
| 教育・保育サービス提供率 | 24.3 | 43.0 | 49.2 | 116.7 | 141.7 | 147.5 | 93.1 |
| 待機児童数 | 6 | 7 | 11 | 0 | 0 | 0 | 24 |

【町田地域】

(単位：人、%)

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| ニーズ量(A)人口 | 618 | 682 | 690 | 709 | 710 | 677 | 4,086 |
| 供給量(B) | 94 | 192 | 278 | 707 | 911 | 906 | 3,088 |
| 認可保育所 | 77 | 168 | 210 | 235 | 241 | 236 | 1,167 |
| 家庭の保育 | 4 | 6 | 6 | - | - | - | 16 |
| 認証保育所 | 13 | 18 | 17 | 8 | 7 | 7 | 70 |
| 幼稚園 | - | - | 45 | 464 | 663 | 663 | 1,835 |
| ニーズ量-供給量(A-B) | 524 | 490 | 412 | 2 | -201 | -229 | 998 |
| 教育・保育サービス提供率 | 15.2 | 28.2 | 40.3 | 99.7 | 128.3 | 133.8 | 75.6 |
| 待機児童数 | 13 | 38 | 20 | 0 | 0 | 1 | 72 |

【鶴川地域】

(単位：人、%)

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------------|------|------|------|------|-------|------|-------|
| ニーズ量(A)人口 | 611 | 676 | 727 | 811 | 775 | 899 | 4,499 |
| 供給量(B) | 117 | 205 | 232 | 741 | 892 | 896 | 3,083 |
| 認可保育所 | 96 | 164 | 201 | 210 | 211 | 213 | 1,095 |
| 家庭の保育 | 6 | 11 | 11 | - | - | - | 28 |
| 認証保育所 | 15 | 30 | 20 | 13 | 6 | 6 | 90 |
| 幼稚園 | - | - | - | 518 | 675 | 677 | 1,870 |
| ニーズ量-供給量(A-B) | 494 | 471 | 495 | 70 | -117 | 3 | 1,416 |
| 教育・保育サービス提供率 | 19.1 | 30.3 | 31.9 | 91.4 | 115.1 | 99.7 | 68.5 |
| 待機児童数 | 1 | 19 | 11 | 1 | 1 | 1 | 34 |

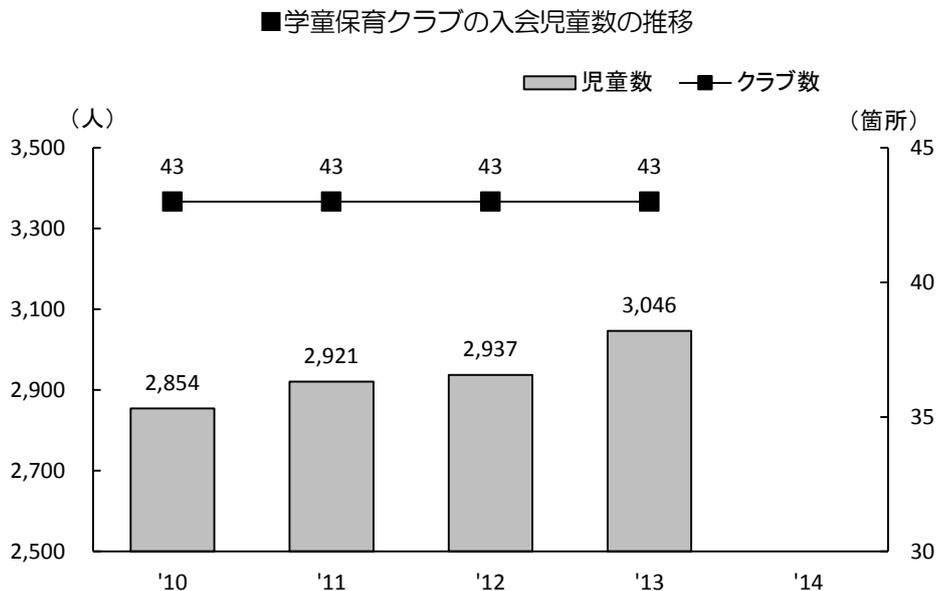
【南地域】

(単位：人、%)

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| ニーズ量(A)人口 | 795 | 900 | 859 | 967 | 1,004 | 974 | 5,499 |
| 供給量(B) | 157 | 247 | 295 | 1,075 | 1,306 | 1,310 | 4,390 |
| 認可保育所 | 142 | 216 | 259 | 288 | 279 | 282 | 1,466 |
| 家庭の保育 | 3 | 6 | 6 | - | - | - | 15 |
| 認証保育所 | 12 | 25 | 30 | 20 | 8 | 9 | 104 |
| 幼稚園 | - | - | - | 767 | 1,019 | 1,019 | 2,805 |
| ニーズ量-供給量(A-B) | 638 | 653 | 564 | -108 | -302 | -336 | 1,109 |
| 教育・保育サービス提供率 | 19.7 | 27.4 | 34.3 | 111.2 | 130.1 | 134.5 | 79.8 |
| 待機児童数 | 6 | 39 | 7 | 2 | 2 | 1 | 57 |

(4) 学童保育クラブの入会児童数の推移

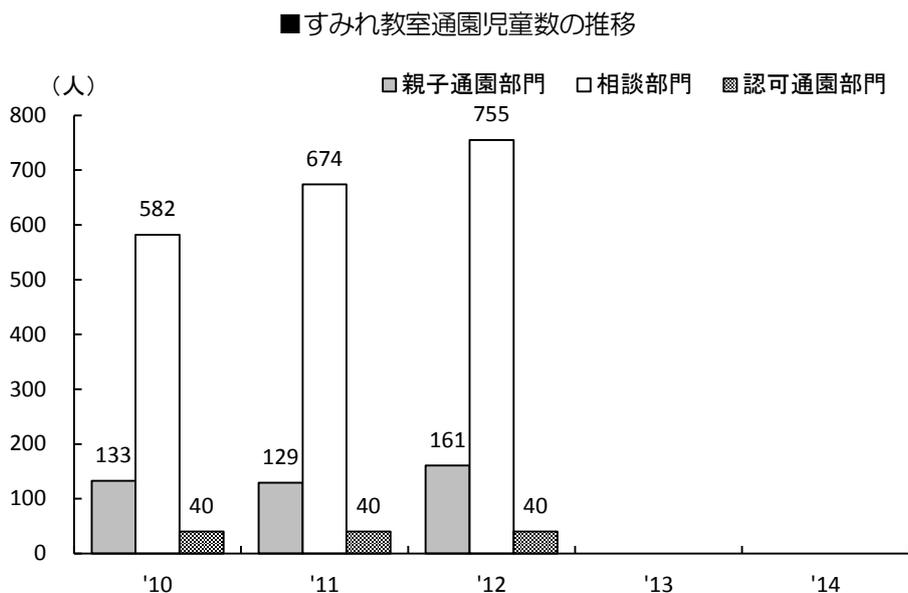
町田市の2014年現在における学童保育クラブ数は●箇所、入会児童数は●人となっています。



(注) 各年4月1日現在である。

(5) すみれ教室通園児童数の推移

発達に遅れや心配のある就学前の乳幼児への支援を目的としている、すみれ教室の通園児童数は2014年現在で、親子通園部門●人、相談部門●人、認可通園部門●人となっており、親子通園部門と相談部門は毎年増加傾向となっています。



(6) 特定 12 事業の事業実績

次世代育成支援対策推進法では行動計画の策定が義務付けられており、町田市では「町田市次世代育成支援対策推進後期行動計画」で12事業についての目標事業量を設定し、取り組んできました。その実績は以下のとおりです。

| 事業名 | 区分 目標単位 | 目標値 | 実績値 | | |
|--|------------|--------|--------|---------|---|
| | | 2014年度 | 2010年度 | 2014年度 | |
| 昼間帯 | ①通常保育事業 | | | | |
| | i) 認可保育所 | か所 | 60 | 53 | |
| | | 人 | 5,578 | 4,702 | |
| | ii) 家庭的保育者 | か所 | 20 | 6 | |
| | | 人 | 92 | 24 | |
| | iii) 認証保育所 | か所 | 7 | 7 | |
| | | 人 | 269 | 280 | |
| | iv) 保育室 | か所 | 1 | 1 | |
| 人 | | 12 | 12 | | |
| ②特定保育事業 | | — | — | — | |
| 夜間帯 | ③延長保育事業 | か所 | 60 | 55 | |
| | | 人 | 5,578 | 136,467 | |
| | ④夜間保育事業 | | — | — | — |
| | | か所 | 1 | 1 | |
| ⑤トワイライトステイ事業 | 人 | 5 | 5 | | |
| | | | | | |
| ⑥休日保育事業 | か所 | 1 | 1 | | |
| | 人 | 20 | 20 | | |
| ⑦病児・病後児保育事業 | か所 | 4 | 4 | | |
| | 日数 | 4,704 | 1,241 | | |
| ⑧放課後児童健全育成事業 | か所 | 43 | 43 | | |
| | 定員(児童数) | 3,665 | 2,854 | | |
| ⑨地域子育て支援拠点事業 (サロン型、ひろば型、センター型、児童館型) | か所 | 33 | 22 | | |
| ⑩一時預かり事業 | か所 | 39 | 35 | | |
| | 日数 | 57,330 | 30,880 | | |
| ⑪ショートステイ事業 | か所 | 1 | 1 | | |
| | 日数 | 438 | 438 | | |
| ⑫ファミリー・サポート・センター事業 | か所 | 1 | 1 | | |

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

子ども・子育て支援新制度は、共働き家庭だけではなく、すべての子育て家庭を支援する仕組みです。

町田市では、これまでに取組んできた子ども・子育て支援の継続性を確保するため、『町田市子どもマスタープラン』の基本理念を引き継ぐこととします。

子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創り出す

すべての子どもの心身ともに安全で健やかな成長を実現することは、現代社会の重要な課題です。人間としての基礎的な資質が作られるこの時期、大人と子どもの関わりのあり方は、子どもの生涯の充実した人生に大きく影響します。

また、子どもは現在の市民であるとともに、将来の市民社会の中核となる存在です。子どもを健やかに育み、豊かな市民性を培うことは、子どもの生涯を充実させるとともに、将来の市民社会の安定と発展のためにも必要なことです。

大人中心の暮らしや社会の価値を子どもの視点からも問い直し、子どもを支えていく社会をみんなで創り出します。

2. 基本方針

教育・保育提供体制の確保及び地域子ども・子育て支援事業の円滑な実施を総合的に推進していくため、国の基本指針を踏まえ、次の方針を掲げ、取り組んでいきます。

「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指します

- 「子どもの権利条約」第3条1の規定に基づき、子どもを支援する際には、父母やその他の保護者、行政機関等ではなく、子どもの視点に立ち、子どもの利益を最優先で考慮します。

子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障します

- 子どもは日本の将来を担う存在であることから、障害や疾病、虐待、貧困など社会的支援が必要な子どもやその家族を含め、全ての子ども及び子育て家庭を対象にして、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく保障することを目指します。

子育てについての第一義的責任は保護者にあるのもと、必要な支援を提供します

- 父母やその他の保護者が子育ての第一義的責任を有することを前提とし、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てへの負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援します。

質の高い幼児期の学校教育・保育、地域における多様な子ども・子育て支援を提供します

- 子どもや子育て家庭の状況、地域の実情を踏まえ、妊娠・出産期からの切れ目のない支援や、幼児期の学校教育・保育、地域における多様な子ども・子育て支援の量的拡充と質的改善を図り、提供します。

家庭や学校、地域、職域などの協働による子ども・子育て支援に取り組めます

- 社会のあらゆる分野における全ての構成員が、未来の社会を創り、担う存在である子どもが大事にされ、健やかに成長できるよう、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、各々が協働し、それぞれの役割を果たすことができるよう取り組みます。

¹ 「児童に関するすべての措置をとるに当たっては、公的若しくは私的な社会福祉施設、裁判所、行政当局又は立法機関のいずれによって行われるものであっても、児童の最善の利益が主として考慮されるものとする。」と記されている。

3. 事業体系

『子ども・子育て支援新制度』で目指す「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」「保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善」「地域の子ども・子育て支援の充実」を図り、基本理念を実現するため、次の事業を展開します。

1. 教育・保育事業

- ①幼稚園
- ②保育所
- ③認定こども園
- ④地域型保育

2. 地域子ども・子育て支援事業

- ①利用者支援事業（コンシェルジュ）
- ②地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）
- ③妊婦健康診査
- ④乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）
- ⑤養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業（その他要保護児童等の支援に資する事業）
- ⑥子育て短期支援事業
- ⑦ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）
- ⑧一時預かり事業（幼稚園、その他）
- ⑨延長保育事業
- ⑩病児保育事業
- ⑪学童保育クラブ
- ⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業
- ⑬多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

4. 教育・保育提供区域の設定

子ども・子育て支援事業計画では、計画に記載する教育・保育、地域子ども・子育て支援事業について、「量の見込み」「確保方策」を設定する単位として「教育・保育提供区域」を設定することとしています。

そのため、町田市の人口や地理的条件、交通事情、現在の教育・保育の利用状況、社会資源の状況等を総合的に勘案し、教育・保育事業については、旧町村の5つの区域を教育・保育の提供単位として設定します。なお、施設整備にあたっては、社会資源や子ども数の変化、財政状況を踏まえつつ、市全体として柔軟に取り組むこととします。

また、地域子ども・子育て支援事業については、以下のとおり、事業ごとに教育・保育提供区域を定めることとします。

| 区分 | 年齢 | 保育の必要性 | 認定区分※ | 利用施設 | 区域 |
|---------------|----------------------------|--|-------|--------------------------|-----|
| 教育・保育事業 | 0～2歳 | あり | 3号 | 保育所 認定子ども園 地域型保育事業 | 5地域 |
| | 3～5歳 | あり | 2号 | 保育所 認定子ども園 | |
| | | なし | 1号 | 幼稚園 認定子ども園 | |
| 地域子ども・子育て支援事業 | 0～5歳、1～6年生 | 利用者支援事業(コンシェルジュ) | | | |
| | 0～2歳 | 地域子育て支援拠点事業(子育てひろば) | | | |
| | — | 妊婦健康診査 | | | |
| | 0歳 | 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問) | | | |
| | 0～5歳、1～6年生 | 養育支援訪問事業 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業(その他要保護児童等の支援に資する事業) | | | |
| | 2～5歳、1～6年生 | 子育て短期支援事業 | | | |
| | 0～5歳、1～6年生 | ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業) | | | |
| | 3～5歳 | 一時預かり事業 | | | |
| | 0～5歳 | ・幼稚園 | | | |
| | 0～5歳 | ・その他 | | | |
| | 0～5歳 | 延長保育事業 | | | |
| | 0～5歳 | 病児保育事業 | | | |
| | 1～6年生 | 学童保育クラブ | | | |
| | 0～5歳、1～6年生 | 実費徴収に係る補足給付を行う事業 | | | |
| — | 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業 | | | | |

※子ども・子育て支援新制度における教育・保育施設を利用するにあたっては、1号、2号、3号いずれかの認定を市から受ける必要があります。

- ◎ 1号認定(教育標準時間認定) : 満3歳以上の2号認定以外の子どもで、教育を希望する場合。
- ◎ 2号認定(保育認定) : 満3歳以上の子どもで、保護者の就労などにより「保育の必要な理由」に該当し、保育所等での保育を希望する場合。
- ◎ 3号認定(保育認定) : 満3歳未満の子どもで、保護者の就労などにより「保育の必要な理由」に該当し、保育所等での保育を希望する場合。

■教育・保育提供区域図（教育・保育事業）

④鶴川地域（面積：19,556 ㌔）

- ◆総人口：92,304 人（うち0～11 歳人口：10,040 人）
- ◆認可保育所：15 カ所 ◆家庭的保育：6 カ所
- ◆認証保育所：2 ヶ所 ◆幼稚園（認定こども園）：8（2）カ所
- ◆学童保育クラブ：9 カ所
- ◆子どもセンター・子どもクラブ：1 カ所

①堺地域（面積：11,335 ㌔）

- ◆総人口：43,547 人（うち0～11 歳人口：6,206 人）
- ◆認可保育所：9 ヶ所 ◆家庭的保育：2 ヶ所
- ◆認証保育所：1 ヶ所 ◆幼稚園（認定こども園）：2（0）カ所
- ◆学童保育クラブ：5 ヶ所
- ◆子どもセンター・子どもクラブ：1 カ所

②忠生地域（面積：17,574 ㌔）

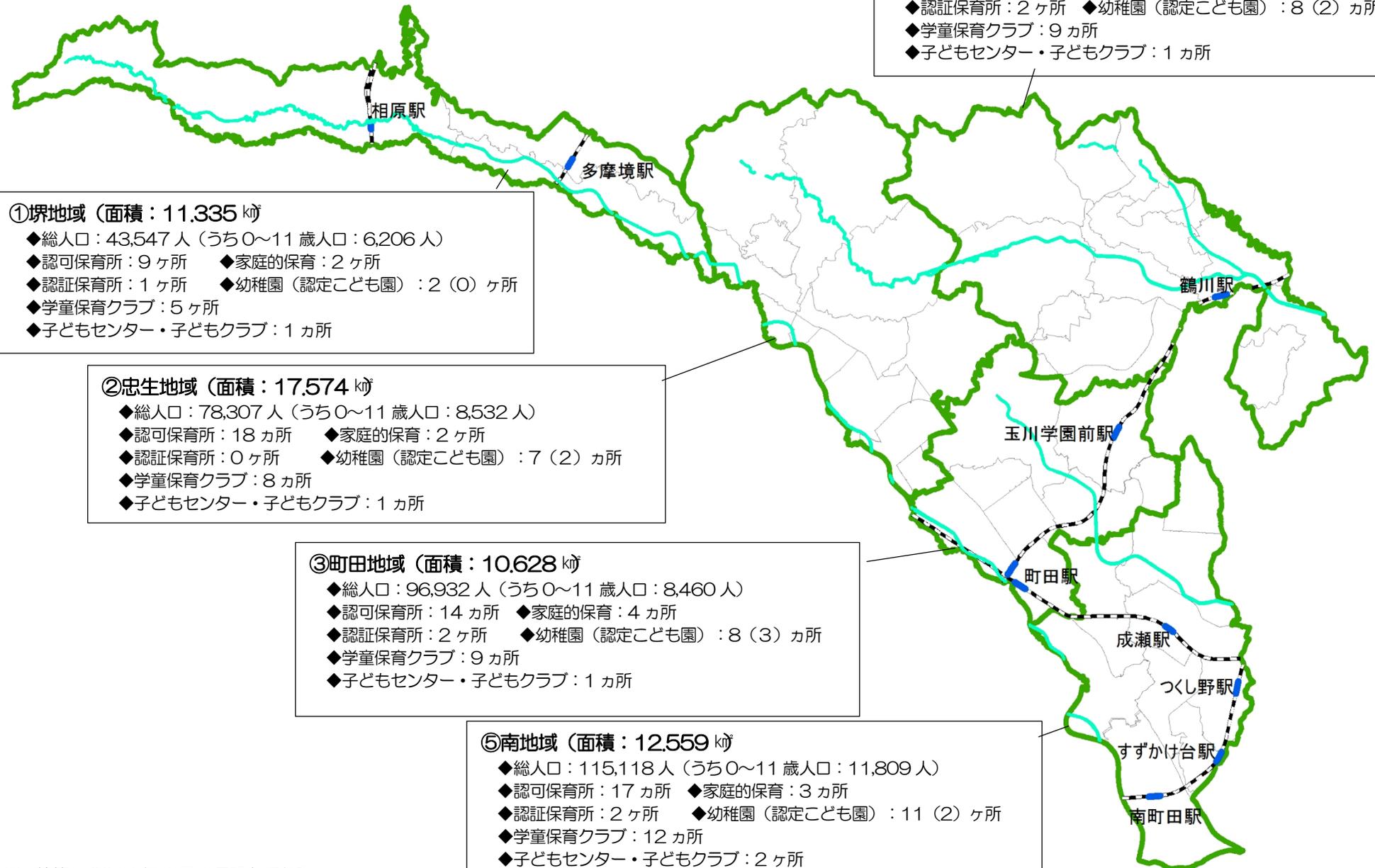
- ◆総人口：78,307 人（うち0～11 歳人口：8,532 人）
- ◆認可保育所：18 カ所 ◆家庭的保育：2 ヶ所
- ◆認証保育所：0 ヶ所 ◆幼稚園（認定こども園）：7（2）カ所
- ◆学童保育クラブ：8 カ所
- ◆子どもセンター・子どもクラブ：1 カ所

③町田地域（面積：10,628 ㌔）

- ◆総人口：96,932 人（うち0～11 歳人口：8,460 人）
- ◆認可保育所：14 カ所 ◆家庭的保育：4 カ所
- ◆認証保育所：2 ヶ所 ◆幼稚園（認定こども園）：8（3）カ所
- ◆学童保育クラブ：9 カ所
- ◆子どもセンター・子どもクラブ：1 カ所

⑤南地域（面積：12,559 ㌔）

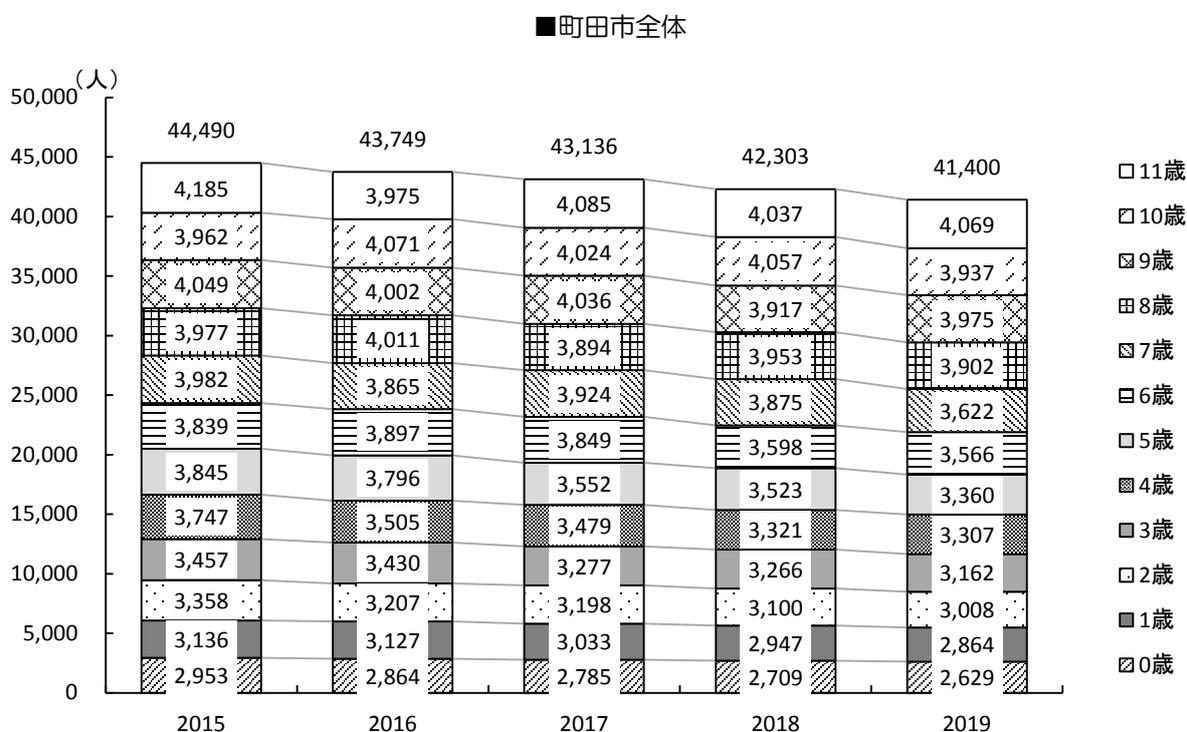
- ◆総人口：115,118 人（うち0～11 歳人口：11,809 人）
- ◆認可保育所：17 カ所 ◆家庭的保育：3 カ所
- ◆認証保育所：2 ヶ所 ◆幼稚園（認定こども園）：11（2）カ所
- ◆学童保育クラブ：12 カ所
- ◆子どもセンター・子どもクラブ：2 ヶ所



※数値等は2014年4月1日現在である

5. 人口推計

町田市の0歳から11歳の今後の子どもの人口は次のとおりになると推計されます。この推計値に基づき、教育・保育事業、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを算出しています。



■5圏域別人口

【堺地域】 (人)

| | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 0歳 | 388 | 387 | 386 | 383 | 377 |
| 1歳 | 454 | 434 | 431 | 431 | 425 |
| 2歳 | 469 | 483 | 460 | 458 | 457 |
| 3歳 | 496 | 493 | 507 | 485 | 480 |
| 4歳 | 531 | 510 | 506 | 522 | 496 |
| 5歳 | 560 | 548 | 525 | 523 | 537 |
| 6歳 | 519 | 581 | 567 | 546 | 540 |
| 7歳 | 588 | 528 | 590 | 577 | 554 |
| 8歳 | 623 | 598 | 536 | 601 | 586 |
| 9歳 | 567 | 626 | 601 | 540 | 603 |
| 10歳 | 536 | 573 | 633 | 609 | 545 |
| 11歳 | 535 | 534 | 571 | 631 | 606 |
| 合計 | 6,266 | 6,296 | 6,314 | 6,306 | 6,208 |

《地区の概況》

堺地域は、町田市の北西部に位置し、東西に細長く、大戸緑地や丘陵地の緑豊かな景観が見られます。一方で、多摩境駅を中心に、開発整備が進み商業施設が建ち並んでいます。大型公園、子どもセンター、保育園などがあります。

【忠生地域】 (人)

| | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 0歳 | 568 | 545 | 523 | 500 | 482 |
| 1歳 | 560 | 604 | 581 | 557 | 531 |
| 2歳 | 606 | 584 | 630 | 605 | 580 |
| 3歳 | 641 | 615 | 592 | 639 | 613 |
| 4歳 | 700 | 653 | 625 | 603 | 650 |
| 5歳 | 773 | 714 | 665 | 638 | 615 |
| 6歳 | 750 | 792 | 731 | 682 | 653 |
| 7歳 | 794 | 760 | 803 | 742 | 691 |
| 8歳 | 735 | 799 | 765 | 808 | 746 |
| 9歳 | 800 | 743 | 808 | 773 | 817 |
| 10歳 | 756 | 805 | 748 | 813 | 778 |
| 11歳 | 774 | 761 | 811 | 754 | 819 |
| 合計 | 8,457 | 8,376 | 8,283 | 8,113 | 7,975 |

《地区の概況》

忠生地域は、町田市の西側に位置し、地域内には大規模な中高層住宅団地があり、区画整理が行われた住宅地が広がっています。一方で起伏のある丘陵など、まだ緑が多く残されています。また、大型公園や保育園が多数あります。

【町田地域】 (人)

| | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 0歳 | 596 | 580 | 567 | 552 | 534 |
| 1歳 | 639 | 616 | 599 | 584 | 569 |
| 2歳 | 675 | 632 | 609 | 591 | 576 |
| 3歳 | 698 | 682 | 637 | 613 | 595 |
| 4歳 | 716 | 704 | 687 | 641 | 617 |
| 5歳 | 720 | 725 | 713 | 695 | 648 |
| 6歳 | 670 | 712 | 717 | 703 | 686 |
| 7歳 | 707 | 669 | 710 | 715 | 701 |
| 8歳 | 710 | 700 | 663 | 703 | 707 |
| 9歳 | 714 | 713 | 703 | 665 | 705 |
| 10歳 | 702 | 712 | 711 | 700 | 662 |
| 11歳 | 740 | 706 | 715 | 714 | 703 |
| 合計 | 8,288 | 8,149 | 8,032 | 7,877 | 7,704 |

《地区の概況》

町田地域は、町田市の中心に位置し、市の顔である町田駅に降り立てば、まず、いくつも立ち並び近代的な大型店舗が目につきます。また、町田地域の大半は住宅地で、駅周辺を少し離れると、大型公園、文化施設、青少年施設、小学校、保育園や幼稚園が多数あります。

【鶴川地域】 (人)

| | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 0歳 | 631 | 608 | 586 | 570 | 553 |
| 1歳 | 644 | 662 | 638 | 616 | 598 |
| 2歳 | 692 | 657 | 675 | 651 | 627 |
| 3歳 | 742 | 704 | 667 | 687 | 662 |
| 4歳 | 821 | 749 | 710 | 673 | 693 |
| 5歳 | 782 | 826 | 753 | 714 | 677 |
| 6歳 | 908 | 788 | 832 | 759 | 720 |
| 7歳 | 885 | 913 | 792 | 837 | 763 |
| 8歳 | 909 | 891 | 919 | 797 | 842 |
| 9歳 | 906 | 915 | 896 | 924 | 801 |
| 10歳 | 953 | 916 | 924 | 905 | 934 |
| 11歳 | 980 | 951 | 913 | 922 | 903 |
| 合計 | 9,851 | 9,579 | 9,307 | 9,054 | 8,773 |

《地区の概況》

鶴川地域は、町田市の北東部に位置し、緑豊かな丘陵の尾根に囲まれた住宅地や、里山や谷戸の田園風景が見られます。一方で大型団地があり、大規模な宅地開発が行われています。子どもセンターや保育園、幼稚園が多数あります。

【南地域】 (人)

| | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 0歳 | 770 | 743 | 722 | 704 | 682 |
| 1歳 | 839 | 810 | 784 | 759 | 740 |
| 2歳 | 916 | 851 | 825 | 795 | 769 |
| 3歳 | 880 | 937 | 873 | 843 | 812 |
| 4歳 | 981 | 889 | 950 | 882 | 851 |
| 5歳 | 1,009 | 983 | 895 | 952 | 883 |
| 6歳 | 992 | 1,025 | 1,001 | 909 | 967 |
| 7歳 | 1,008 | 996 | 1,029 | 1,005 | 911 |
| 8歳 | 1,000 | 1,023 | 1,011 | 1,044 | 1,020 |
| 9歳 | 1,063 | 1,005 | 1,028 | 1,016 | 1,049 |
| 10歳 | 1,015 | 1,065 | 1,008 | 1,030 | 1,018 |
| 11歳 | 1,156 | 1,024 | 1,075 | 1,016 | 1,038 |
| 合計 | 11,628 | 11,350 | 11,200 | 10,953 | 10,741 |

《地区の概況》

南地域は、町田市の南部に位置し、町田街道や思田川を中心に平坦な土地に住宅地の町並みが広がります。また、国道や高速道路などの交通の結節点には、近年集合住宅等が建設されています。総合体育館や子どもセンター、大型公園、保育園、幼稚園が多数あります。

第4章 教育・保育の量の見込みと確保策、実施時期

1. 幼稚園、認定子ども園

幼稚園及び認定こども園の対象としては、1号認定者が基本となります。1号認定とは、3～5歳で保育の必要性がなく、学校教育のみを希望する子どもになります。また、2号認定者の一部についても対象となります。2号認定とは、3～5歳で保育の必要性がある子どもですが、その中でも幼児期の学校教育の希望が強い子どもが対象となっています。

(1) 堺地域

《現 状》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

《確保策》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

| | | 平成 26 年度 (実績) | | 平成 27 年度 (1年目) | | 平成 28 年度 (2年目) | |
|----------|------------|------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度 (3年目) | | 平成 30 年度 (4年目) | | 平成 31 年度 (5年目) | |
|----------|------------|-------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

(2) 忠生地域

《現 状》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

《確保策》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

| | | 平成 26 年度 (実績) | | 平成 27 年度 (1年目) | | 平成 28 年度 (2年目) | |
|----------|----------------|------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度 (3年目) | | 平成 30 年度 (4年目) | | 平成 31 年度 (5年目) | |
|----------|----------------|-------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

(3) 町田地域

《現 状》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

《確保策》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

| | | 平成 26 年度 (実績) | | 平成 27 年度 (1年目) | | 平成 28 年度 (2年目) | |
|----------|----------------|------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度 (3年目) | | 平成 30 年度 (4年目) | | 平成 31 年度 (5年目) | |
|----------|----------------|-------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

(4) 鶴川地域

《現 状》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

《確保策》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

| | | 平成 26 年度 (実績) | | 平成 27 年度 (1年目) | | 平成 28 年度 (2年目) | |
|----------|----------------|------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度 (3年目) | | 平成 30 年度 (4年目) | | 平成 31 年度 (5年目) | |
|----------|----------------|-------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

(5) 南地域

《現 状》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

《確保策》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

| | | 平成 26 年度 (実績) | | 平成 27 年度 (1年目) | | 平成 28 年度 (2年目) | |
|----------|----------------|------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度 (3年目) | | 平成 30 年度 (4年目) | | 平成 31 年度 (5年目) | |
|----------|----------------|-------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

(6) 市全体

《現 状》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

《確保策》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

| | | 平成 26 年度 (実績) | | 平成 27 年度 (1年目) | | 平成 28 年度 (2年目) | |
|----------|----------------|------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度 (3年目) | | 平成 30 年度 (4年目) | | 平成 31 年度 (5年目) | |
|----------|----------------|-------------------|----|-------------------|----|-------------------|----|
| | | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 | 1号 | 2号 |
| ①量の見込み | 量の見込み | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | |
| | 確認を受けた幼稚園 | | | | | | |
| | 確認を受けない幼稚園 | | | | | | |
| | 市外利用－市内利用 計 | | | | | | |
| 過不足(②－①) | | | | | | | |

2. 保育所、認定子ども園、地域型保育

保育所、認定こども園、地域型保育事業等の対象としては、2号認定者のうち、幼児期の学校教育の希望が強い子どもを除いた人と3号認定者になります。3号認定とは、0～2歳で保育の必要性がある子どもになります。さらに3号認定については、0歳と1、2歳に区分して定めることとなっています。

地域型保育事業とは、家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業の4事業を指し、小規模保育事業はA型、B型、C型に分かれます。

(1) 堺地域

《現 状》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

《確保策》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

| | 平成26年度(実績) | | | 平成27年度(1年目) | | | 平成28年度(2年目) | | |
|----------|------------|----|------|-------------|----|------|-------------|----|------|
| | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | 0歳 | 1～2歳 | | 0歳 | 1～2歳 | | 0歳 | 1～2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | |

| | 平成29年度(3年目) | | | 平成30年度(4年目) | | | 平成31年度(5年目) | | |
|----------|-------------|----|------|-------------|----|------|-------------|----|------|
| | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | 0歳 | 1～2歳 | | 0歳 | 1～2歳 | | 0歳 | 1～2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | |

(2) 忠生地域

《現 状》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

《確保策》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

| | | 平成 26 年度(実績) | | 平成 27 年度(1年目) | | 平成 28 年度(2年目) | | | | |
|------------|---------|--------------|----|---------------|----|---------------|------|----|----|------|
| | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | | |
| ②確保 の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度(3年目) | | 平成 30 年度(4年目) | | 平成 31 年度(5年目) | | | | |
|------------|---------|---------------|----|---------------|----|---------------|------|----|----|------|
| | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | | |
| ②確保 の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | | |

(3) 町田地域

《現 状》

| | |
|-------------|--|
| ○ ○ ○ | |
|-------------|--|

《確保策》

| | |
|-------------|--|
| ○ ○ ○ | |
|-------------|--|

| | | 平成 26 年度(実績) | | | 平成 27 年度(1年目) | | | 平成 28 年度(2年目) | | |
|------------|---------|--------------|----|------|---------------|----|------|---------------|----|------|
| | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | | |
| ②確保 の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度(3年目) | | | 平成 30 年度(4年目) | | | 平成 31 年度(5年目) | | |
|------------|---------|---------------|----|------|---------------|----|------|---------------|----|------|
| | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | | |
| ②確保 の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | | |

(4) 鶴川地域

《現 状》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

《確保策》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

| | | 平成 26 年度(実績) | | 平成 27 年度(1年目) | | 平成 28 年度(2年目) | | | | |
|------------|---------|--------------|----|---------------|----|---------------|------|----|----|------|
| | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | | |
| ②確保 の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度(3年目) | | 平成 30 年度(4年目) | | 平成 31 年度(5年目) | | | | |
|------------|---------|---------------|----|---------------|----|---------------|------|----|----|------|
| | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | | |
| ②確保 の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | | |

(5) 南地域

《現 状》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

《確保策》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

| | | 平成 26 年度(実績) | | | 平成 27 年度(1年目) | | | 平成 28 年度(2年目) | | |
|------------|---------|--------------|----|------|---------------|----|------|---------------|----|------|
| | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | | |
| ②確保 の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度(3年目) | | | 平成 30 年度(4年目) | | | 平成 31 年度(5年目) | | |
|------------|---------|---------------|----|------|---------------|----|------|---------------|----|------|
| | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | | |
| ②確保 の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | | |

(6) 市全体

《現 状》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

《確保策》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

| | | 平成 26 年度(実績) | | 平成 27 年度(1年目) | | 平成 28 年度(2年目) | | | | |
|----------|---------|--------------|----|---------------|----|---------------|------|----|----|------|
| | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | | |

| | | 平成 29 年度(3年目) | | 平成 30 年度(4年目) | | 平成 31 年度(5年目) | | | | |
|----------|---------|---------------|----|---------------|----|---------------|------|----|----|------|
| | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | | 2号 | 3号 | |
| | | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 | | 0歳 | 1~2歳 |
| ①量の見込み | | | | | | | | | | |
| ②確保の内容 | 教育・保育施設 | | | | | | | | | |
| | 地域型保育事業 | | | | | | | | | |
| | 認可外保育施設 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | | | | | |

3. 地域子ども・子育て支援事業

区域設定しない場合の記載方法

(1) 利用者支援事業

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

《現 状》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

《確保策》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(2) 地域子育て支援拠点事業

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

《現 状》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

《確保策》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(3) 妊婦健康診査

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

《現 状》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

《確保策》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(4) 乳児家庭全戸訪問事業

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

《現 状》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

《確保策》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

| | 平成26年度 (実績) | 平成27年度 (1年目) | 平成28年度 (2年目) | 平成29年度 (3年目) | 平成30年度 (4年目) | 平成31年度 (5年目) |
|----------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(5) 養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

養育支援訪問事業とは、養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。

子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業とは、要保護児童対策協議会（子どもを守る地域ネットワーク）の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員（関係機関）の専門性強化と、ネットワーク機関間の連携強化を図る取組を実施する事業です。

《現 状》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

《確保策》

| |
|---|
| ○ |
| ○ |
| ○ |

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(6) 子育て短期支援事業

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業（短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）及び夜間養護等事業（トワイライトステイ事業））です。

《現 状》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

《確保策》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(7) ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

《現 状》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

《確保策》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(8) 一時預かり事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。

《現 状》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

《確保策》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(9) 延長保育事業

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業です。

《現 状》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

《確保策》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(10) 病児保育事業

病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業です。

《現 状》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

《確保策》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(11) 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。

《現 状》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

《確保策》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業です。

《現 状》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

《確保策》

| |
|---|
| <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> |
|---|

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

特定教育・保育施設等への民間事業者の参入の促進に関する調査研究その他多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の設置又は運営を促進するための事業です。

《現 状》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

《確保策》

| |
|-----------------------|
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |
| <input type="radio"/> |

| | 平成 26 年度 (実績) | 平成 27 年度 (1年目) | 平成 28 年度 (2年目) | 平成 29 年度 (3年目) | 平成 30 年度 (4年目) | 平成 31 年度 (5年目) |
|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施箇所数 | | | | | | |
| ①量の見込み | | | | | | |
| ②確保の内容 | | | | | | |
| 過不足(②-①) | | | | | | |

4. 幼児期の学校教育・保育の一体的な提供及び推進

認定こども園の設置数や設置時期、普及に係る考え方、質の高い幼児期の学校教育・保育、地域の子育て支援の役割及びその推進方策、幼児期の学校教育・保育と小学校教育との円滑な接続の取組推進、保幼小連携、0～2歳に係る取組と3～5歳に係る取組の連携を実施します。

5. その他の取り組み

(1) 産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保

保護者の産休・育休明けの希望に応じて、円滑に教育・保育施設、地域型保育事業を利用できるよう、休業期間中の保護者に情報提供や相談支援等を行うとともに、町田市の実情に応じた計画的な教育・保育施設、地域型保育事業の整備を行います。

(2) 子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する東京都との連携

児童虐待防止対策の充実、母子家庭及び父子課程の自立支援の推進、障害児施策の充実等について、東京都が行う施策との連携を図るとともに、町田市の実情に応じた施策を展開します。特に、障害児等特別な支援を必要とする子どもが、希望する教育・保育を円滑に受け取ることができるよう配慮するとともに、事業者や関係機関との必要な連携を図ります。

(3) 労働者の職業生活と家庭生活との両立に必要な雇用環境整備施策との連携

仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し、仕事と子育ての両立のための基盤整備について、東京都、地域企業、労働者団体、地域活動団体等と連携しながら、町田市の実情に応じた施策を展開します。

第5章 計画の推進に向けて

1. 計画の進行状況の点検・評価及び推進

この計画の推進にあたっては、毎年度計画の進捗状況を把握し、その結果を次年度の施策に反映させることが必要です。

計画の進捗状況を把握するため、見込み量や確保策を点検評価するとともに、町田市子ども・子育て会議により、計画の進行管理及び評価を行います。

また、計画の進捗状況を市のホームページを通して公表します。

2. 子ども・子育て支援条例による推進

質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大・確保、地域の子ども・子育て支援の充実を目的とした「子ども・子育て関連3法」に基づく子ども・子育て支援新制度が、平成27年度からスタートする予定です。町田市は教育・保育施設や事業者の基準について条例で定めるとともに、子育てしやすい・すまいまちを目指し、取組んでいきます。

3. 近隣自治体との連携、都・国への働きかけ

子ども・子育て支援の充実を図るためには、市の取り組みだけですべてを実施することはできません。近隣自治体と連携した教育・保育サービスの提供や、都や国への働きかけなど、子ども・子育て支援の充実に積極的に取組んでいきます。

資料編